

# 2025年冬季 リリース



The image shows a screenshot of the Asana project management interface. On the left, a blue yeti character with red horns is riding a rainbow. The main dashboard features several goal cards with progress bars:

- 目標 (Goal):** マーケティングの効率を 20% 向上させる (Improve marketing efficiency by 20%). Progress: 54%.
- 下位目標 (Sub-goal):** キャンペーン実施までの時間を 25% 短縮する (Reduce time to campaign implementation by 25%). Progress: 62%.
- プロジェクト (Project):** マーケティングリクエストの受信トレイ (Marketing request inbox). Progress: 71%.

At the bottom center, a dark blue circle indicates the current month: **2月** (February).

On the right, a sidebar titled **マーケティングリクエストの受信トレイ** (Marketing request inbox) shows a list of requests:

- 受け付け (Received) with a lightning bolt icon and a button to **+ リクエストを追加** (Add request).
- 新製品リリース (New product release)
- アセットのリクエスト (Asset request)
- Q2 イベント (Q2 event)

A legend on the right side of the sidebar defines the status icons:

- N** 新製品 (New product)
- I** 進行中 (In progress)
- C** 完了 (Completed)

# 目次

表示 ↓

プロジェクトマネジメント

表示 ↓

リクエスト管理

表示 ↓

目標管理

表示 ↓

リソース管理

表示 ↓

戦略プランニングとポートフォリオ管理

表示 ↓

ビジネスレビューと報告

表示 ↓

チームのオンボーディングと能力開発

表示 ↓

企業向けのセキュリティとコントロール

表示 ↓

Asana AI

2025年冬季リリース

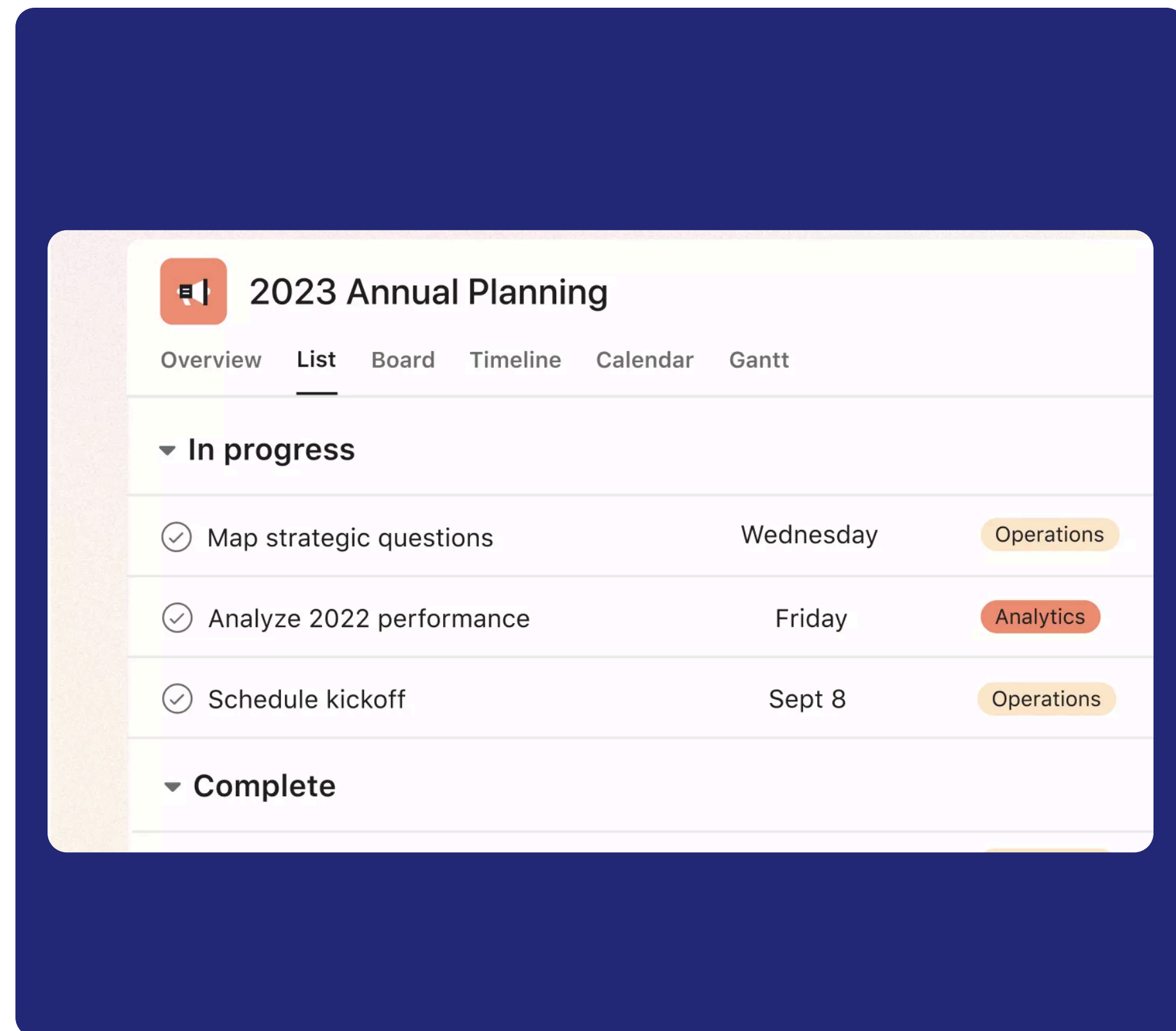
# プロジェクト マネジメント



# プロジェクトマネジメント

[詳しく見る →](#)

- ✓ **カスタムタスクタイプとステータス**  
チームのワークフローに合ったカスタムタスクタイプやステータスを作成する
- ✓ **テンプレートでプロジェクトの権限を設定**  
テンプレートにプロジェクト権限を適用し、一貫性とセキュリティを確保する
- ✓ **非公開のカスタムフィールド**  
機密データを保護する
- ✓ **カスタムフィールドの権限**  
カスタムフィールドの値の編集権限を管理し、データの正確性を保証する
- ✓ **ガントビューでのグループ化**  
重要なインサイトをすばやく確認し、プロジェクト計画を見やすく整理する
- ✓ **スマートチャットの機能強化**  
より正確な回答を得て、すばやく行動に移す



# チームのワークフローに合ったカスタムタスクタイプやステータスを作成する

リソース →



## 概要

タスクのカテゴリを定義し、ステータスを設定してタスクの完了・未完了に対応づけられます。オートメーションやレポートと併用することで、複数のプロジェクトやポートフォリオの仕事を柔軟に管理および分析できます。



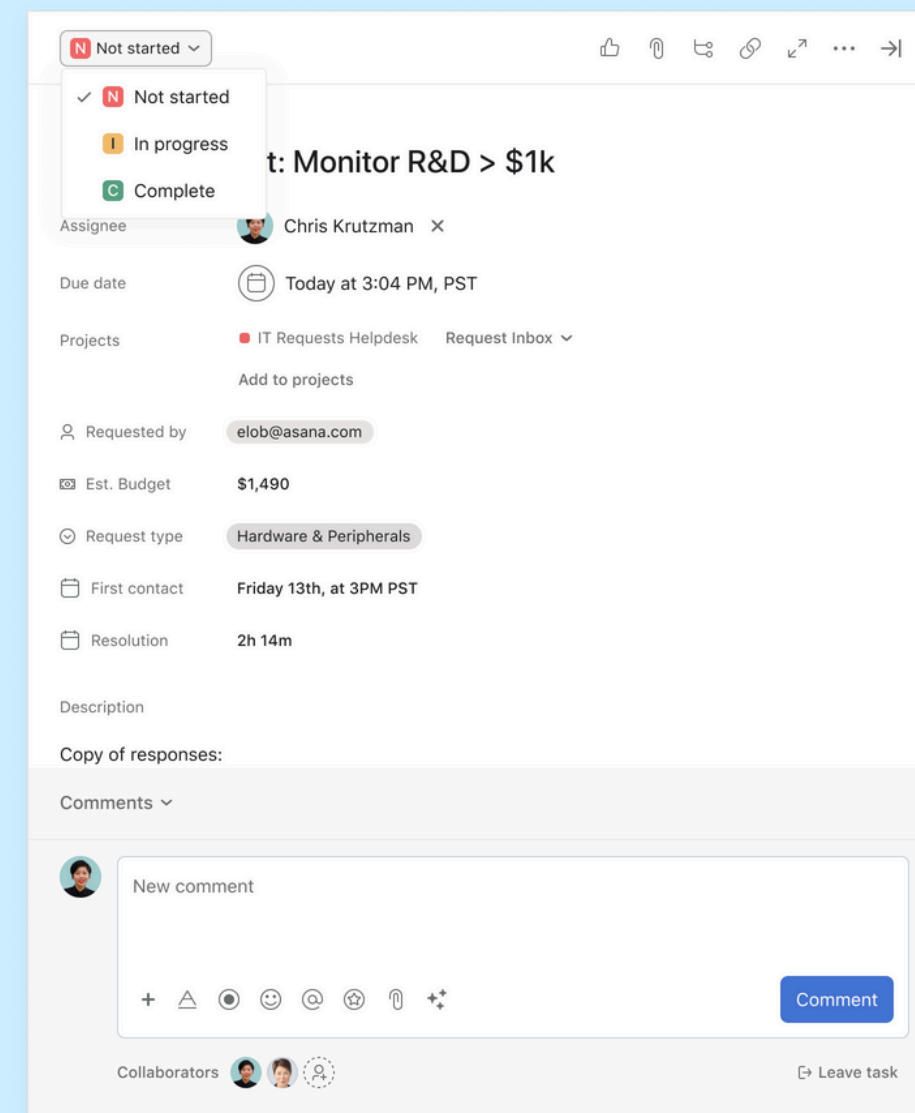
## 主なメリット

- 特定のニーズに合わせてタスクタイプやステータスをカスタマイズできる
- タスクを標準化することで、透明性が高まり、複数チーム間で足並みが揃う
- カスタムタスクタイプのレポートを作成することで、進捗を的確に管理でき、正確なインサイトを得られる



## 主なユースケース

- リクエスト管理
- 仕事の受け付け
- チケット管理
- チームと部門固有のワークフロー



## 機能の使い方

「カスタマイズ」メニューからタスクテンプレートに対してカスタムタスクタイプを作成します。「プロジェクト設定」から、デフォルトのタスクタイプとして設定できます。

# テンプレートにプロジェクト権限を適用し、一貫性とセキュリティを確保する

リソース →

## 概要

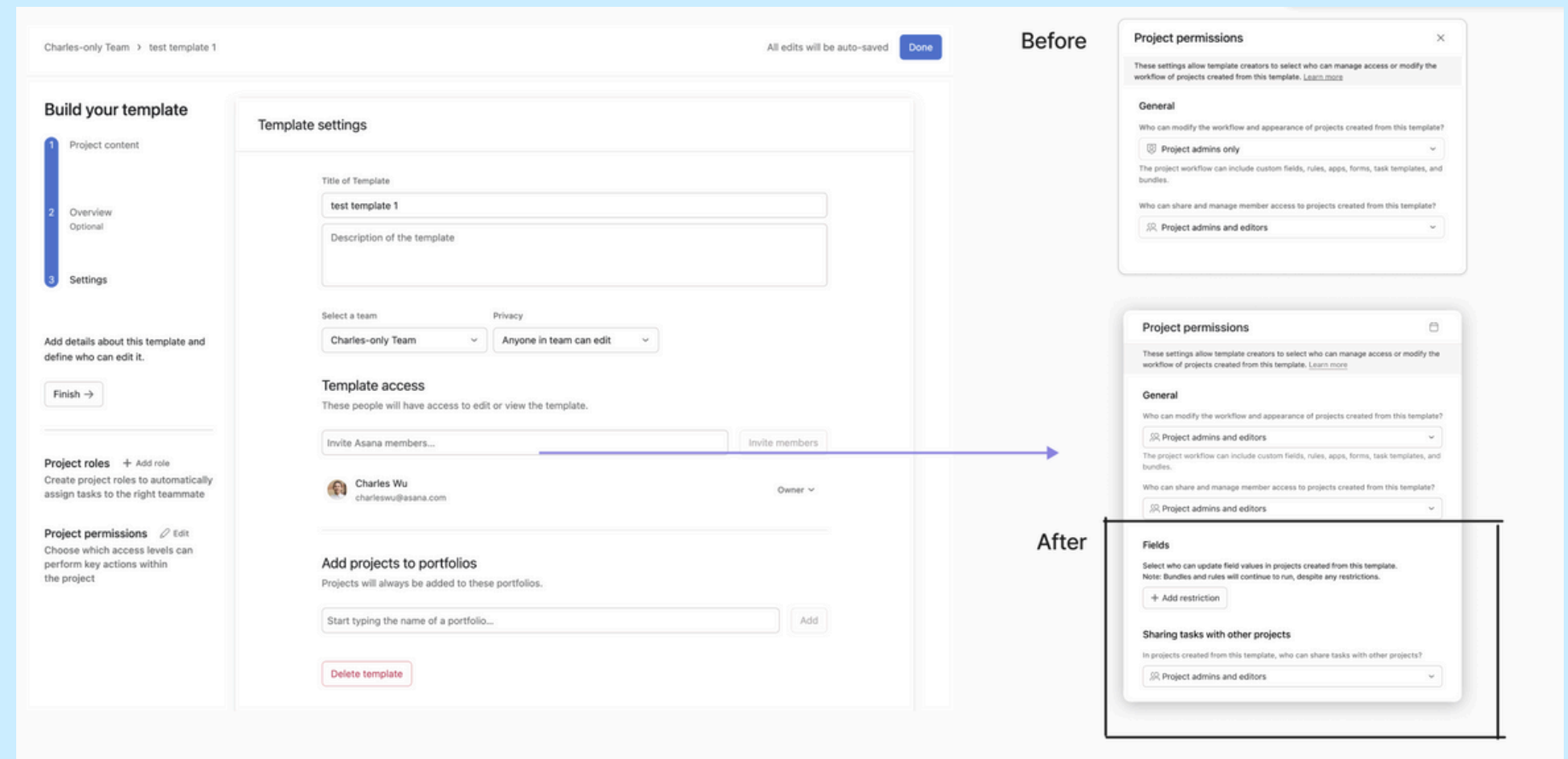
カスタムフィールド値の変更の制限やマルチホームの制限をプロジェクトで編集できるようになったことに伴い、プロジェクトテンプレートでもそれらを編集できるようになります。

## 主なメリット

- テンプレートの制限を新しいプロジェクトに適用することで、権限の付与を自動化できる
- カスタムフィールドを編集できるユーザーを管理することでデータの整合性を保護できる
- マルチホームのアクセスを制限することでプロジェクトの可視性を管理できる

## 主なユースケース

- プロジェクトへのアクセス制御
- 仕事の受け付け
- 部門間コラボレーション



## 機能の使い方

プロジェクト内のカスタムフィールドの編集制限とマルチホームの制限を設定します。そのプロジェクトをテンプレートに変換するか、そこから新しいプロジェクトを作成し、権限を保持します。

# 非公開カスタムフィールドで機密データを保護する

[リソース →](#)



## 概要

カスタムフィールドを非公開に設定し、タスク、プロジェクト、ポートフォリオ内の機密情報にアクセスして閲覧できるメンバーをチームで管理できるようにすることでデータの機密性を守ります。



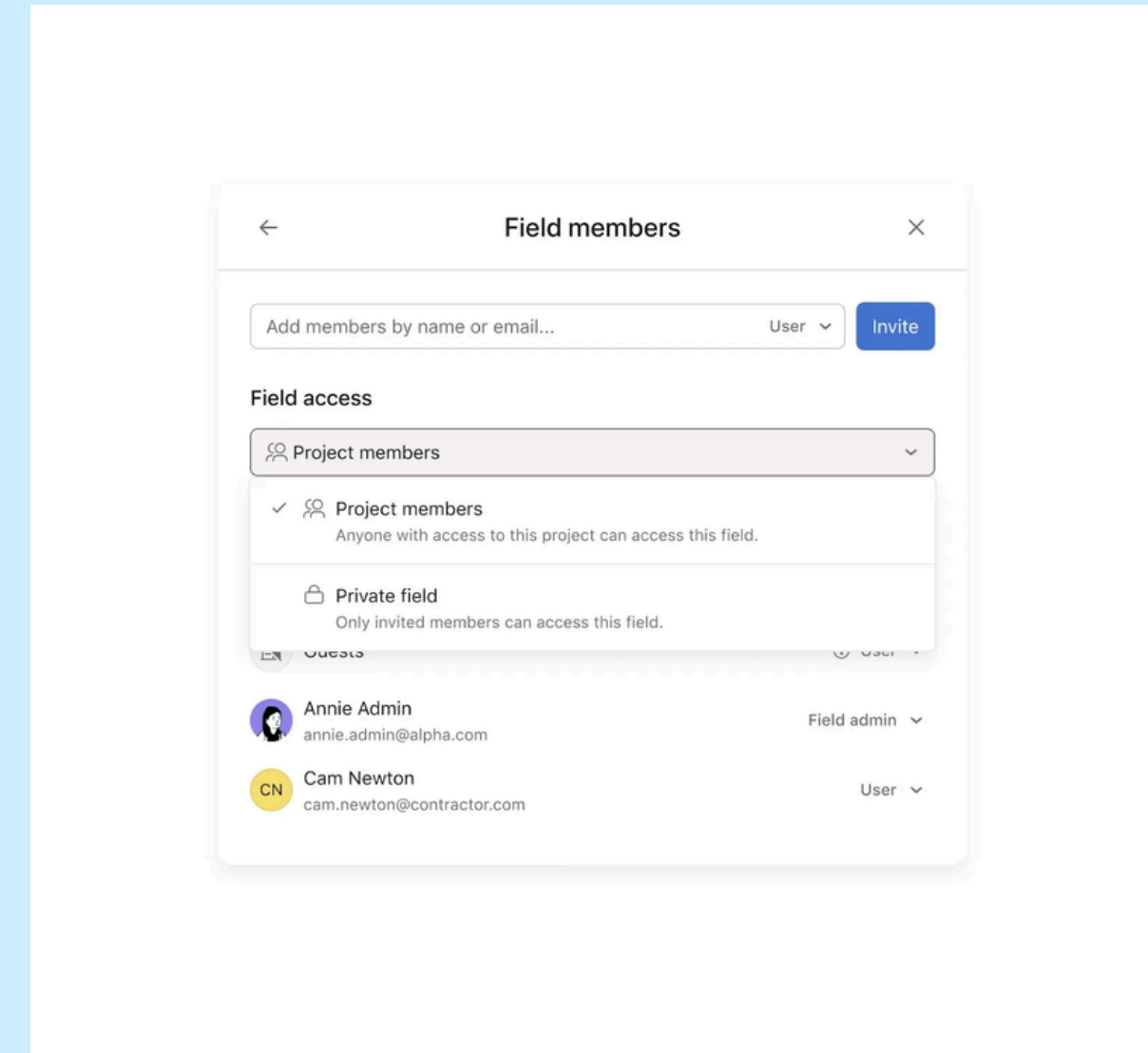
## 主なメリット

- 機密情報を危険にさらすことなく、仕事をオープンに共有できる
- 「予算」などのフィールドをゲストに対して非表示にし、クライアントとのコラボレーションにおいて機密性を維持できる



## 主なユースケース

- 仕事の受け付け
- クライアントとのコラボレーション
- レポート



## 機能の使い方

「フィールドを編集」を選択し、フィールドアクセス設定を開き、プロジェクト全体、組織全体、非公開アクセスのいずれかを選択して、カスタムフィールドの可視性を調整します。

# プロジェクトのカスタムフィールドの値の編集権限を管理し、データの正確性を保証する

リソース →



## 概要

細かい権限を上手に使い分けてカスタムフィールドの編集権限を正確にコントロールできます。チームは重要なデータを保護し、意図しない変更を防ぎ、機密情報を扱う企業組織のセキュリティニーズを満たします。



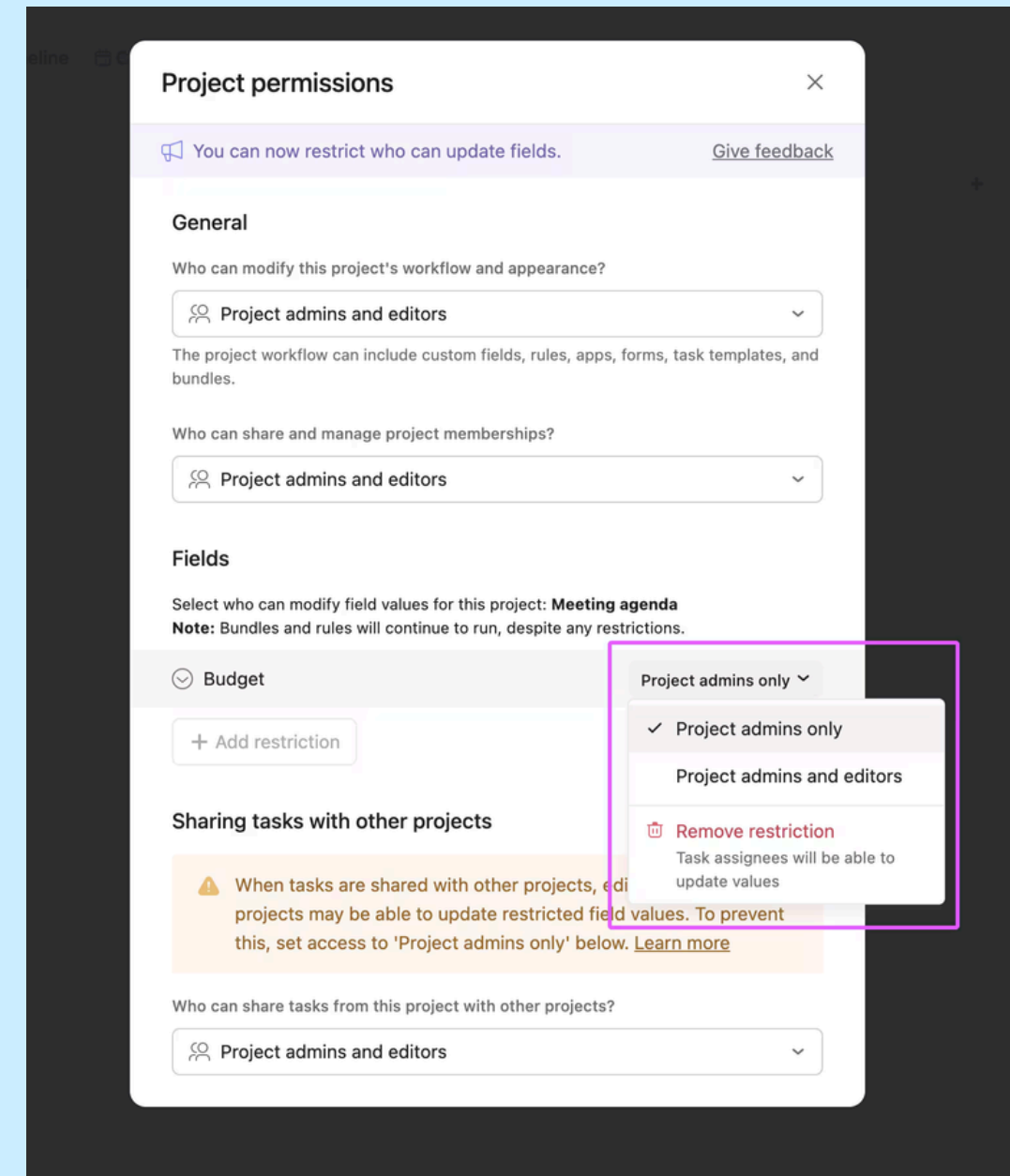
## 主なメリット

- 勝手な編集を防ぎ、データの正確性を維持できる
- アクセスを制限し、機密情報を保護できる
- 適切なチームメンバーのみがデータを更新できる



## 主なユースケース

- 仕事の受け付け
- レポートと監査



## 機能の使い方

「フィールドを編集」設定からフィールドの権限を調整することで、カスタムフィールドの値を更新できるメンバーを管理します。



# タスクをガントビューでグループ分けすることで、重要なインサイトをすばやく確認し、プロジェクト計画を見やすく整理する

リソース →



## 概要

ガントビューで「グループ化」を使用すれば、タスクを担当者、優先度、またはカスタムフィールド別に整理できます。仕事量を簡単に可視化し、タイムラインで重要な仕事を強調表示できます。



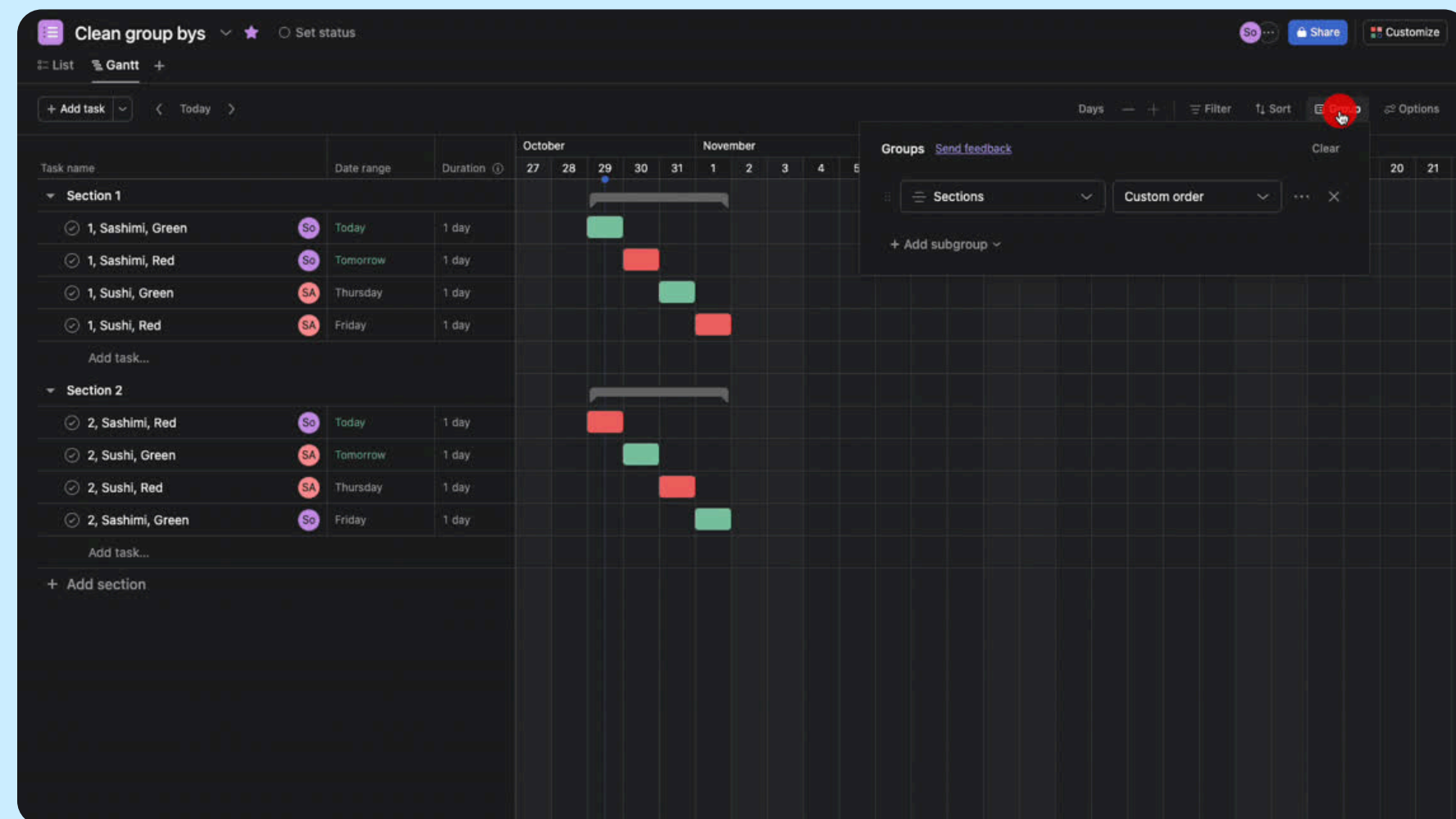
## 主なメリット

- タスクを担当者別にグループ分けすることで、仕事量に関するインサイトが得られる
- タスクを優先度別にグループ分けすることで、重要な作業に集中しそれらを優先できる
- タスクをチーム別または役割別に整理し、作業内容が目標に沿うように計画を改善できる



## 主なユースケース

- 仕事の受け付け
- 仕事量の調整
- 進捗管理



## 機能の使い方

ガントビューで「グループ化」を使用すれば、タスクを担当者、優先度、またはその他のフィールド別に整理できるので、可視性と計画を改善できます。

# スマートチャットの機能強化で、より正確な回答を得て、すばやく行動に移す

[リソース →](#)



## 概要

スマートチャットで、より直感的で自然なやり取りができるようになりました。詳細なフォローアップの質問や、コンテンツの下書きや修正、製品内の直接リンクの取得、専門的なガイダンスの提供など、すべてを一つのシームレスな体験で行えます。



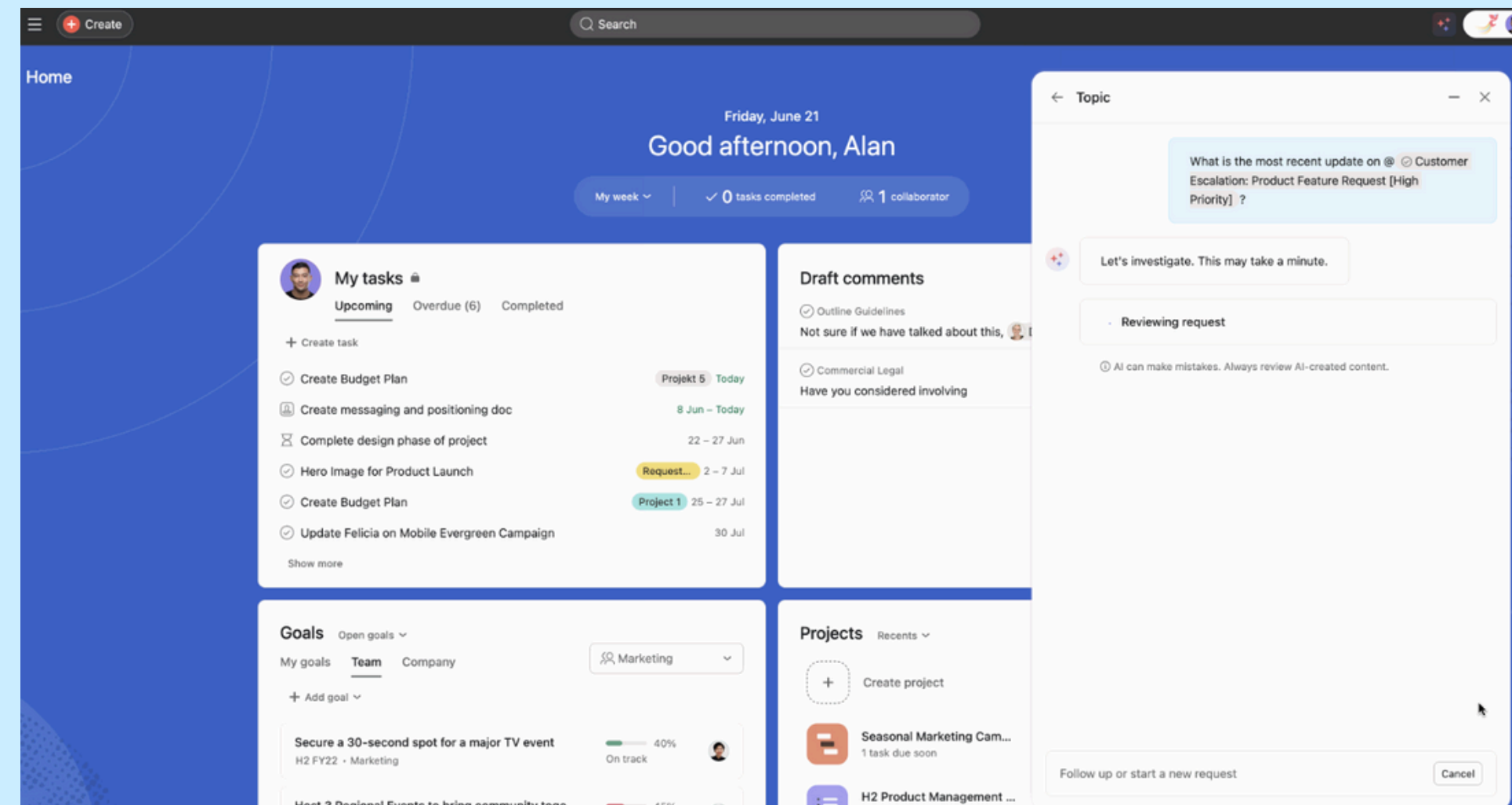
## 主なメリット

- コンテキストを記憶する AI のフォローアップ機能で、より早く回答を得られる
- チャット内で直接テキストを下書き、修正、改善できる
- 専門的なガイダンスや提案を受けて、効率よく仕事を進められる



## 主なユースケース

- 仕事の受け付け
- リソース計画
- 戦略プランニング
- 製品リリース



## 機能の使い方

Asana ウィンドウの右上にあるキラキラアイコンをクリックしてスマートチャットを開き、おすすめの質問から選択するか、自然言語で質問を入力します。複雑なプロンプトを書く必要はありません。

2025年冬季リリース

# リクエスト管理



# リクエスト管理

[詳しく見る →](#)



## リクエスト管理

Asana のライセンスを持たない関係者からのリクエストもスムーズに管理する



## カスタムタスクタイプとステータス

チームのワークフローに合ったカスタムタスクタイプやステータスを作成する



# Asana のライセンスを持たない関係者からのリクエストもスムーズに管理する

リソース →



## 概要

リクエストを効率的に追跡、管理、解決できるようにするために、フォームの送信を一元管理し、ワークフローを自動化し、組織の共有メールアドレスを持つフォーム送信者が最新情報をメールで受け取り、それにメールで返信できるようにします。



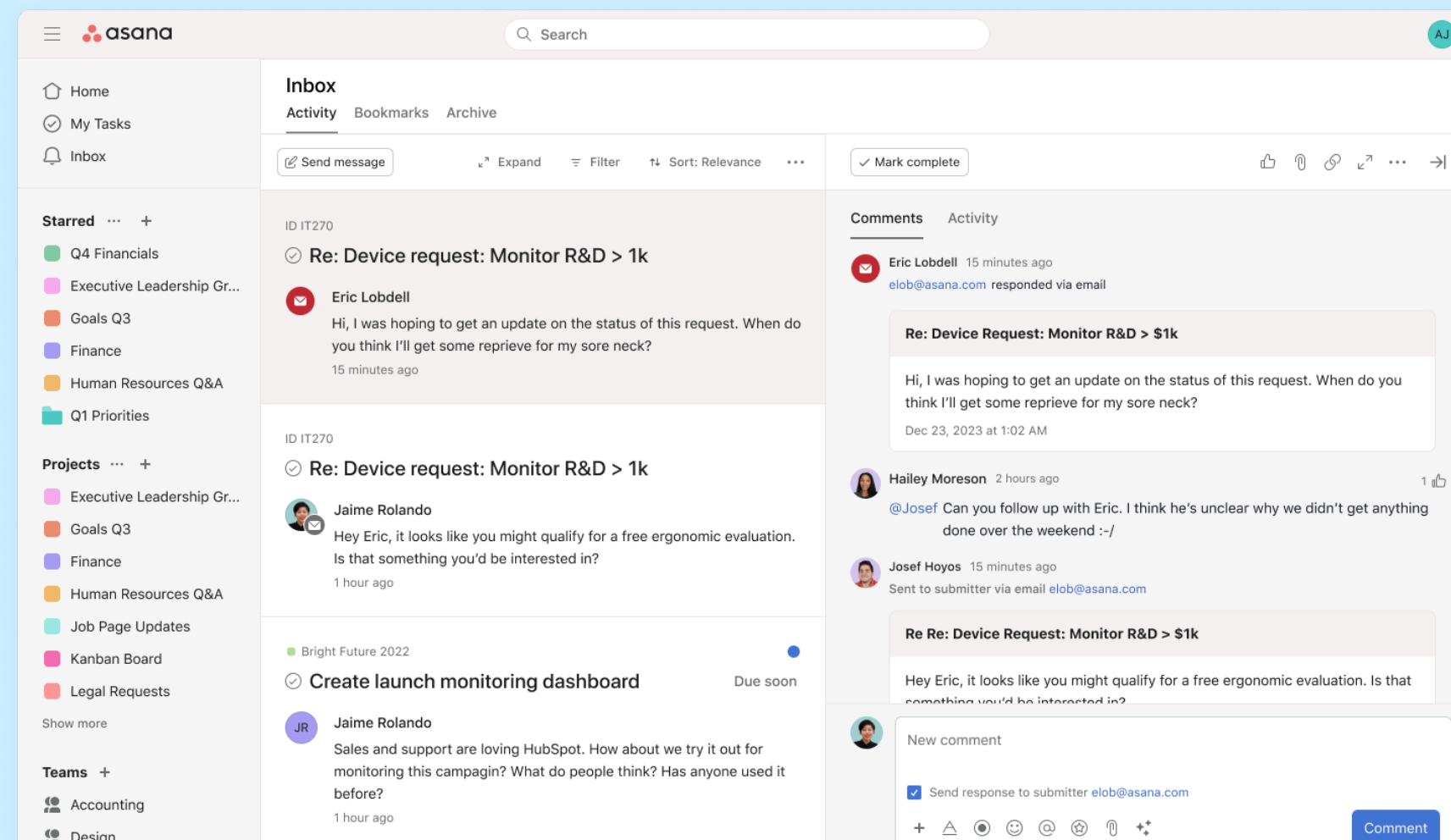
## 主なメリット

- リクエストの追跡を一元管理することで、すべてのリクエストを一か所で取り込み、管理できる
- リクエスト送信者と担当者が明確にコミュニケーションを取れるため、両者が共通認識を持てる
- リクエストのステータスや進捗状況をリアルタイムで確認し、すばやく解決できる



## 主なユースケース

- リクエスト管理
- 仕事の受け付け



## 機能の使い方

リクエストを取り込み、管理するための Asana プロジェクトを作成します。タスクをチームメンバーに割り当て、完了にいたるまでの進捗を追跡します。

# チームのワークフローに合ったカスタムタスクタイプやステータスを作成する

リソース →



## 概要

タスクのカテゴリを定義し、ステータスを設定してタスクの完了・未完了に対応づけられます。オートメーションやレポートと併用することで、複数のプロジェクトやポートフォリオの仕事を柔軟に管理および分析できます。



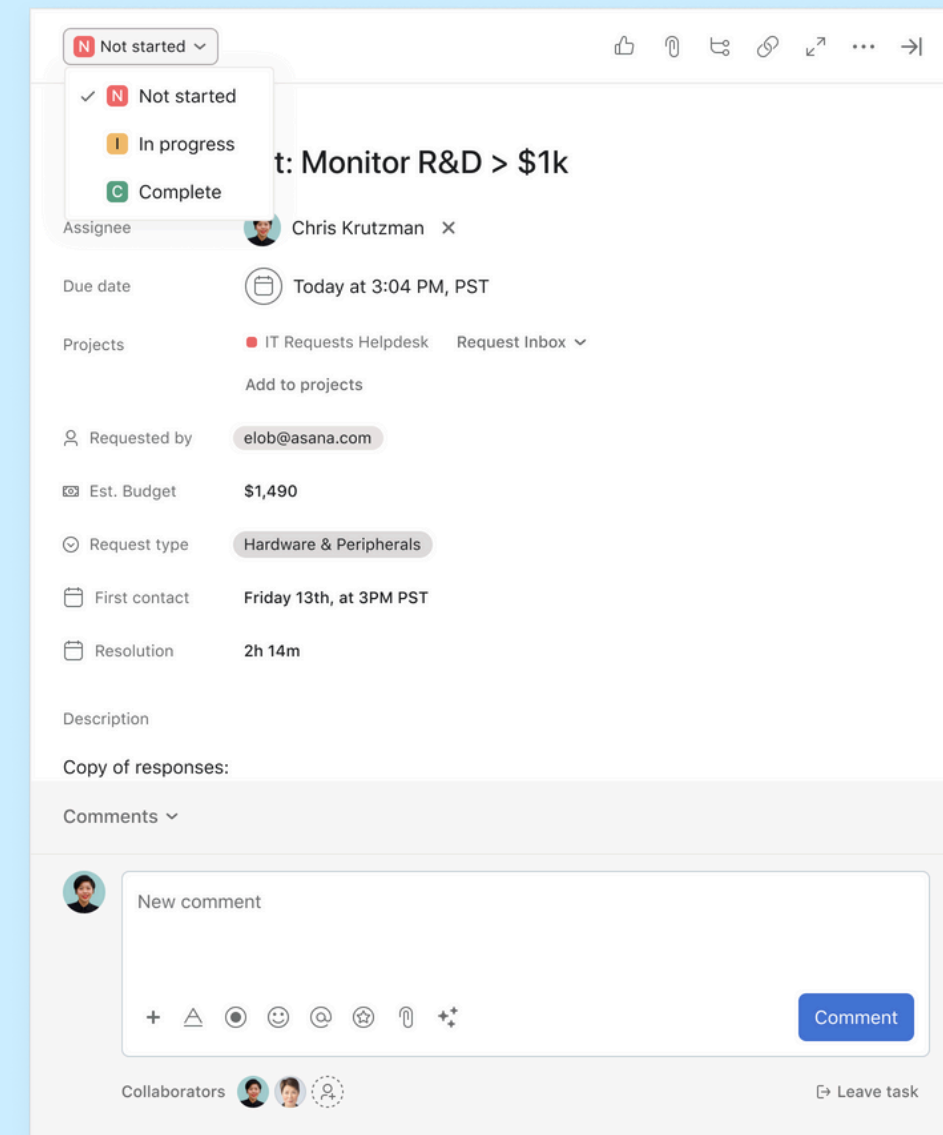
## 主なメリット

- 特定のニーズに合わせてタスクタイプやステータスをカスタマイズできる
- タスクを標準化することで、透明性が高まり、複数チーム間で足並みが揃う
- カスタムタスクタイプのレポートを作成することで、進捗を的確に管理でき、正確なインサイトを得られる



## 主なユースケース

- リクエスト管理
- 仕事の受け付け
- チケット管理
- チームと部門固有のワークフロー



## 機能の使い方

「カスタマイズ」メニューからタスクテンプレートに対してカスタムタスクタイプを作成します。「プロジェクト設定」から、デフォルトのタスクタイプとして設定できます。

2025年冬季リリース

# アプリ連携

# アプリ連携

[詳しく見る →](#)

- ✓ Salesforce と Asana のデータ同期  
Salesforce と Asana をリアルタイムで同期し、ワークフローを効率化する
- ✓ Microsoft Teams でのプロジェクトビュー  
Microsoft Teams で Asana のプロジェクトビューを使用してチームの連携を維持する
- ✓ Microsoft Teams でのカスタムリマインダー  
コミュニケーションと実行の間にあるギャップを埋める
- ✓ Microsoft Teams でのスマートチャット  
インサイトや提案を確認して業務をスムーズに進める





# Salesforce と Asana をリアルタイムで同期し、部署横断ワークフローを効率化する

[リソース →](#)



## 概要

Salesforce から Asana への自動化を使用すると、Salesforce のデータを Asana と同期するタスクを作成することによって、フィールドをリアルタイムで更新し、手作業を減らすことができます。



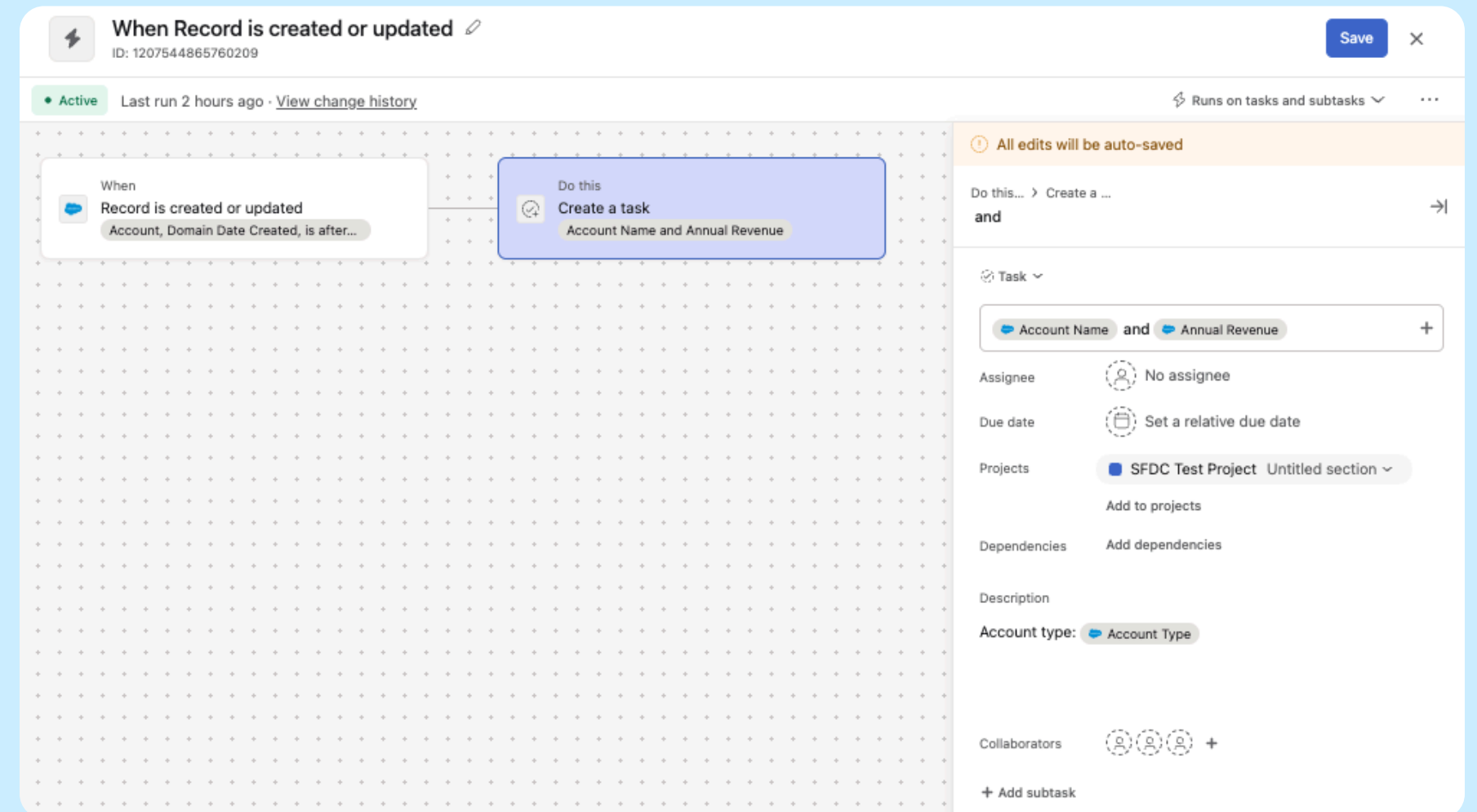
## 主なメリット

- Salesforce のデータを自動的に Asana のタスクと同期することによって時間を節約できる
- チームが常に最新情報を確認できるため、効率よく商談を管理できる
- 部門横断ワークフローを合理化し、手作業を減らせる



## 主なユースケース

- 仕事の受け付け
- キャンペーン計画
- 戦略プランニング



## 機能の使い方

Salesforce と Asana の同期をセットアップするには、まず Asana プロジェクトの「カスタマイズ」からルールを追加します。Salesforce のトリガーを設定し、タスクを作成して同期を維持するオプションを選択し、フィールドをマッピングし、ルールを公開して有効にします。

# Asana のプロジェクトビューを Microsoft Teams に直接埋め込み、チームの連携を強化する

リソース →



## 概要

Microsoft Teams で Asana プロジェクトの最新情報を把握します。Teams チャンネルでリストビューの埋め込みと編集、タスクの作成と更新、プロジェクトのステータス更新の共有を行うことで、進捗とリスクをシームレスに確認できます。



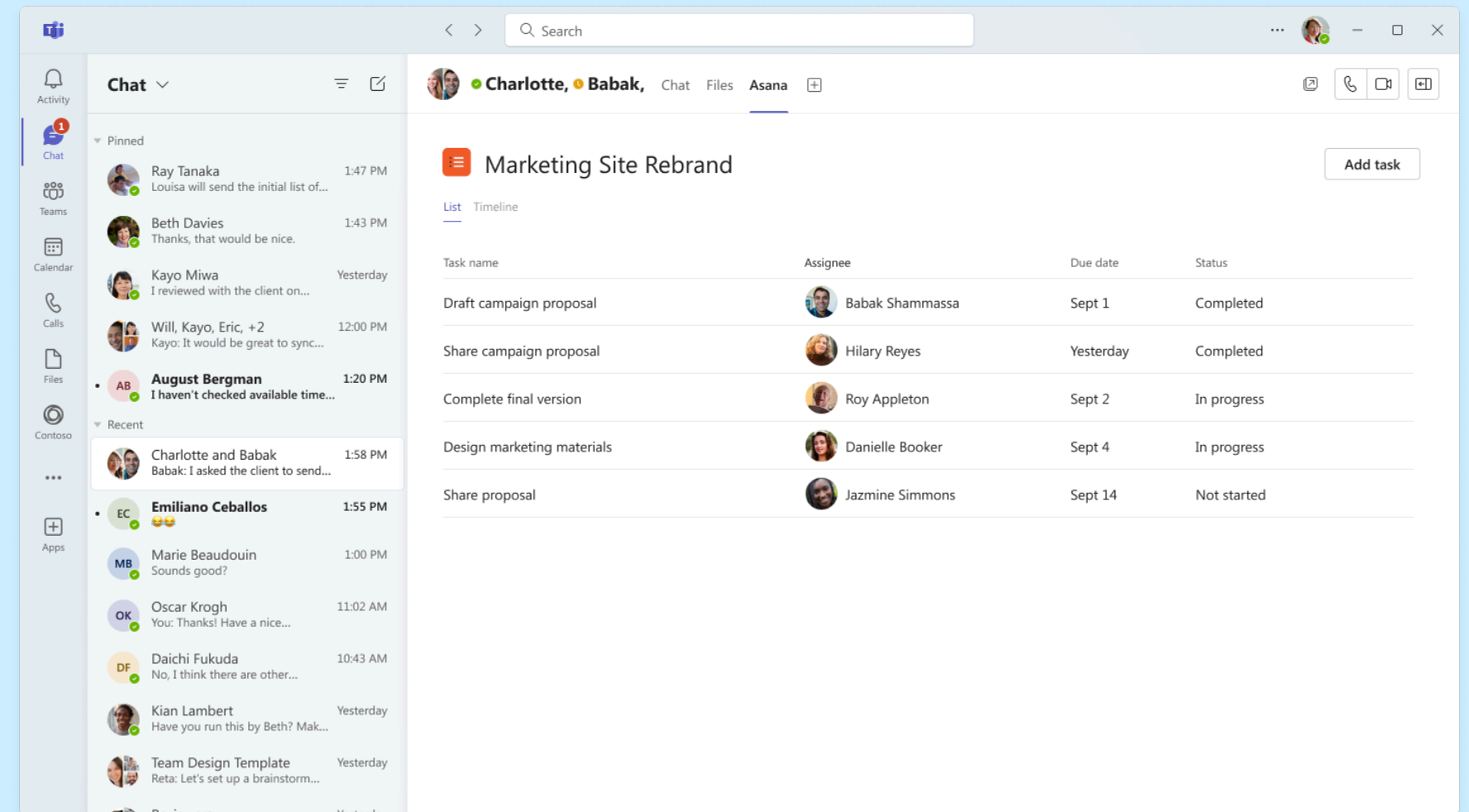
## 主なメリット

- Teams チャンネルに Asana プロジェクトを埋め込むことで全員が確認できる
- Teams でカスタマイズ可能なプロジェクトステータス通知を活かして最新情報を把握できる
- Asana と Teams 間のコンテキストの切り替えを減らすことで効率を改善できる



## 主なユースケース

- 仕事の受け付け
- キャンペーン計画
- 戦略プランニング



## 機能の使い方

Teams チャンネルに Asana のプロジェクトを追加し、ステータス通知をカスタマイズします。プロジェクト情報がリアルタイムで更新され、チームの足並みが揃います。

# Microsoft Teams でカスタムリマインダーを使用し、コミュニケーションと実行の間にあるギャップを埋める

リソース →



## 概要

Microsoft Teams でカスタムリマインダーを送信することで、タスクの最新情報やコメントの内容をコラボレーターに通知します。



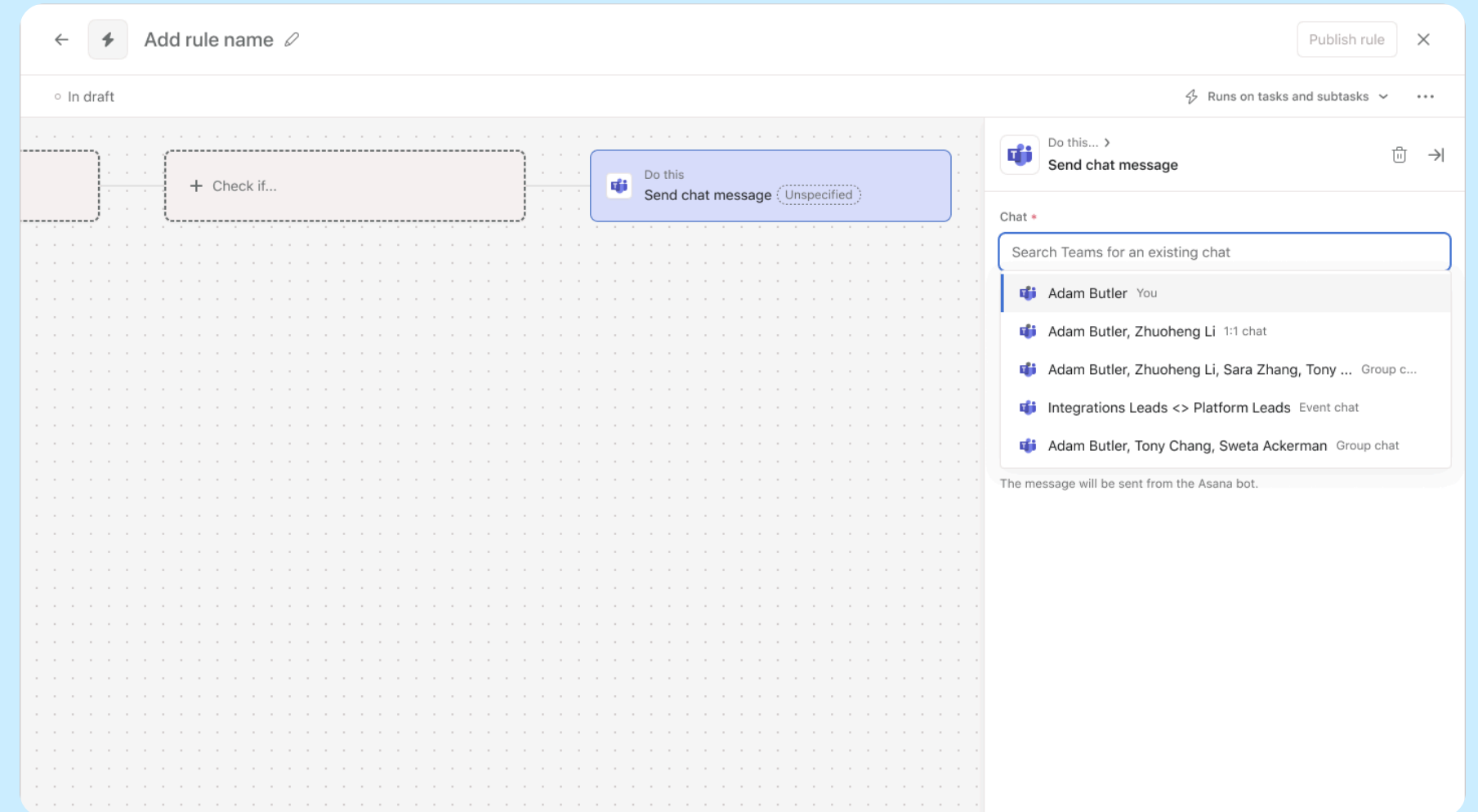
## 主なメリット

- Asana のトリガーを受けて Teams のカスタム通知を送信することで、最新情報を自動的に発信できる
- Microsoft Teams でチームに最新情報を提供することで、可視性を改善できる
- プロジェクトの重要な最新情報に関するリマインダーやアラートを自動で送信することで時間を節約できる



## 主なユースケース

- 仕事の受け付け
- クリエイティブ制作
- キャンペーン計画
- 戦略プランニング
- 製品リリース



## 機能の使い方

Asana でカスタムルールを作成し、トリガーを設定して、Teams の通知を設定します。これで最新情報が自動的に送信されます。

# Microsoft Teams で直接インサイトや提案を確認して業務をスムーズに進める

リソース →



## 概要

Microsoft Teams 内でスマートチャットを利用し、プロジェクトサマリーの取得、ボトルネックの特定、AI によるインサイトを活用し、効果的に優先順位を付けられます。



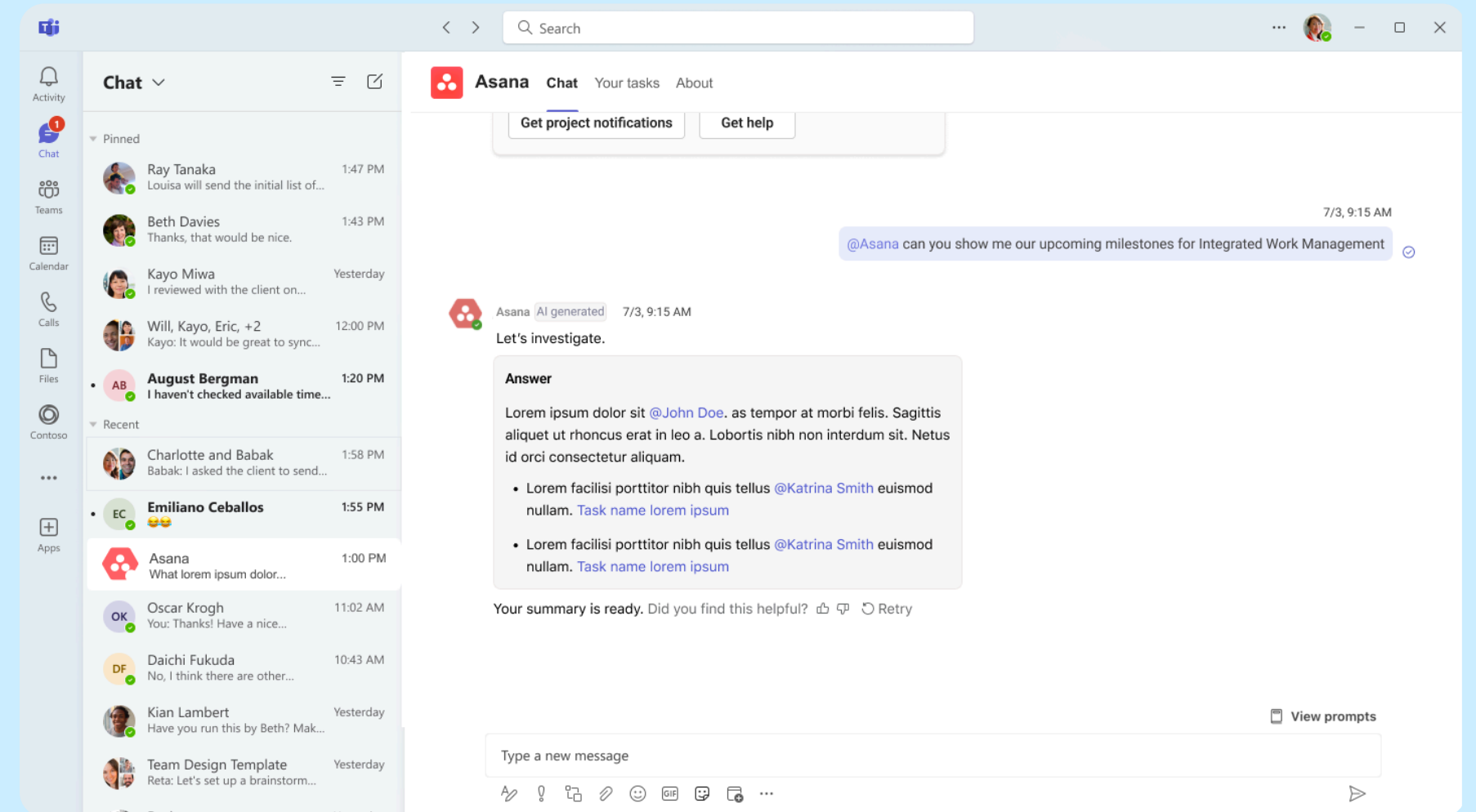
## 主なメリット

- 仕事のステータス、プロジェクトのリスク、次のステップについて即座に回答を得られる
- 作業が遅れる前にボトルネックを特定し、スムーズに進行できる
- トレンド、次のステップ、担当者に関する AI のインサイトを活用し、優先度を適切に判断できる



## 主なユースケース

- 仕事の受け付け
- クリエイティブ制作
- キャンペーン計画
- 戦略プランニング
- 製品リリース



## 機能の使い方

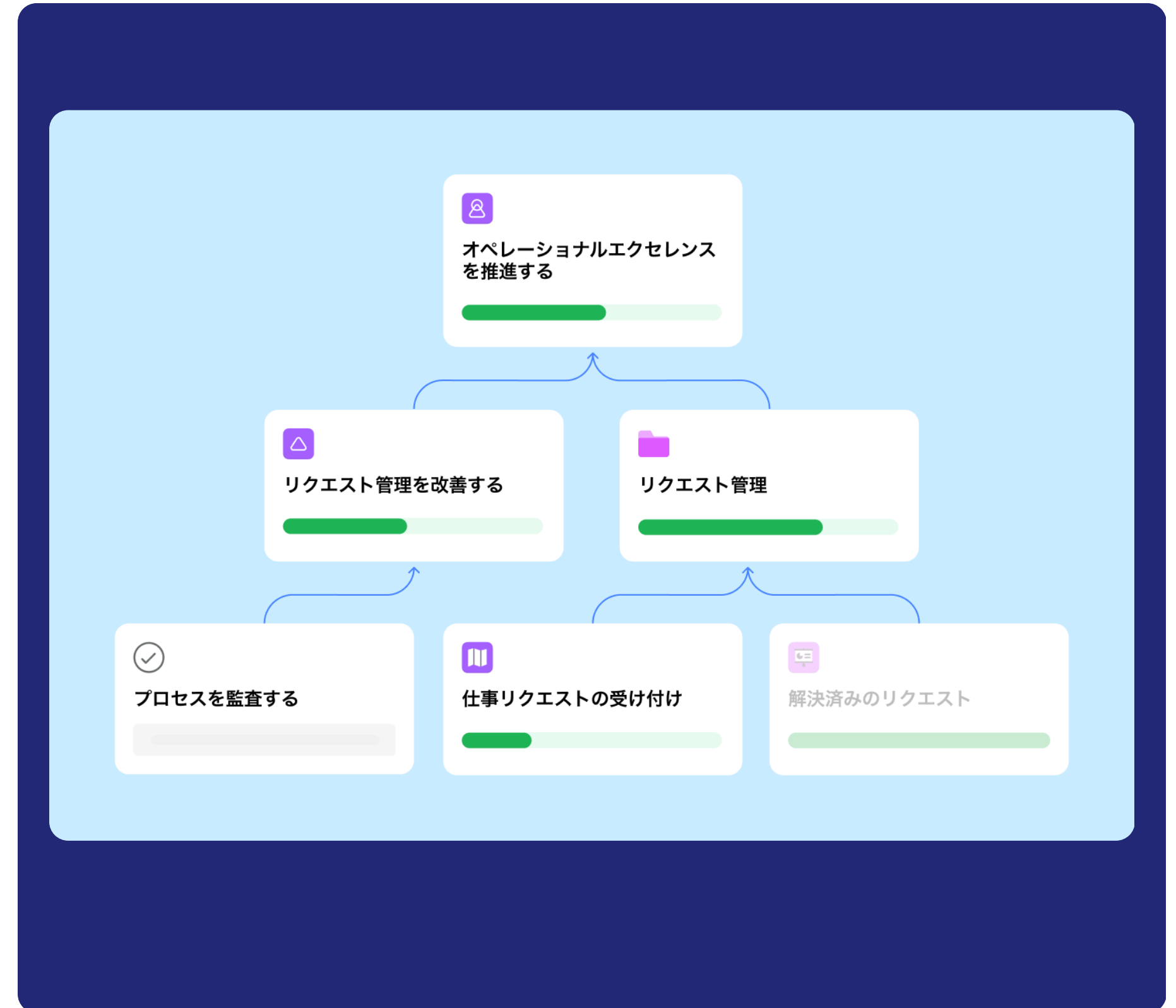
Teams で Asana のチャットを検索し、ログインして質問をすると、リアルタイムでプロジェクトのインサイトや提案を得られます。

2025年冬季リリース

# 目標管理



- ✓ 戦略マップ  
会社全体の目標と仕事のつながりを可視化する
- ✓ 目標のステータスを PDF としてエクスポート  
関係者と最新情報をスムーズに共有する



# 戦略マップで、会社全体の目標と仕事のつながりを可視化する

リソース →



## 概要

戦略マップとは、会社のミッションから目標およびその達成を支える作業へとシームレスにつなぐものです。リーダーが障害を分析し、努力を成果につなげ、チームの働きが会社の目標達成をどのように支えているのかを示すのに役立ちます。



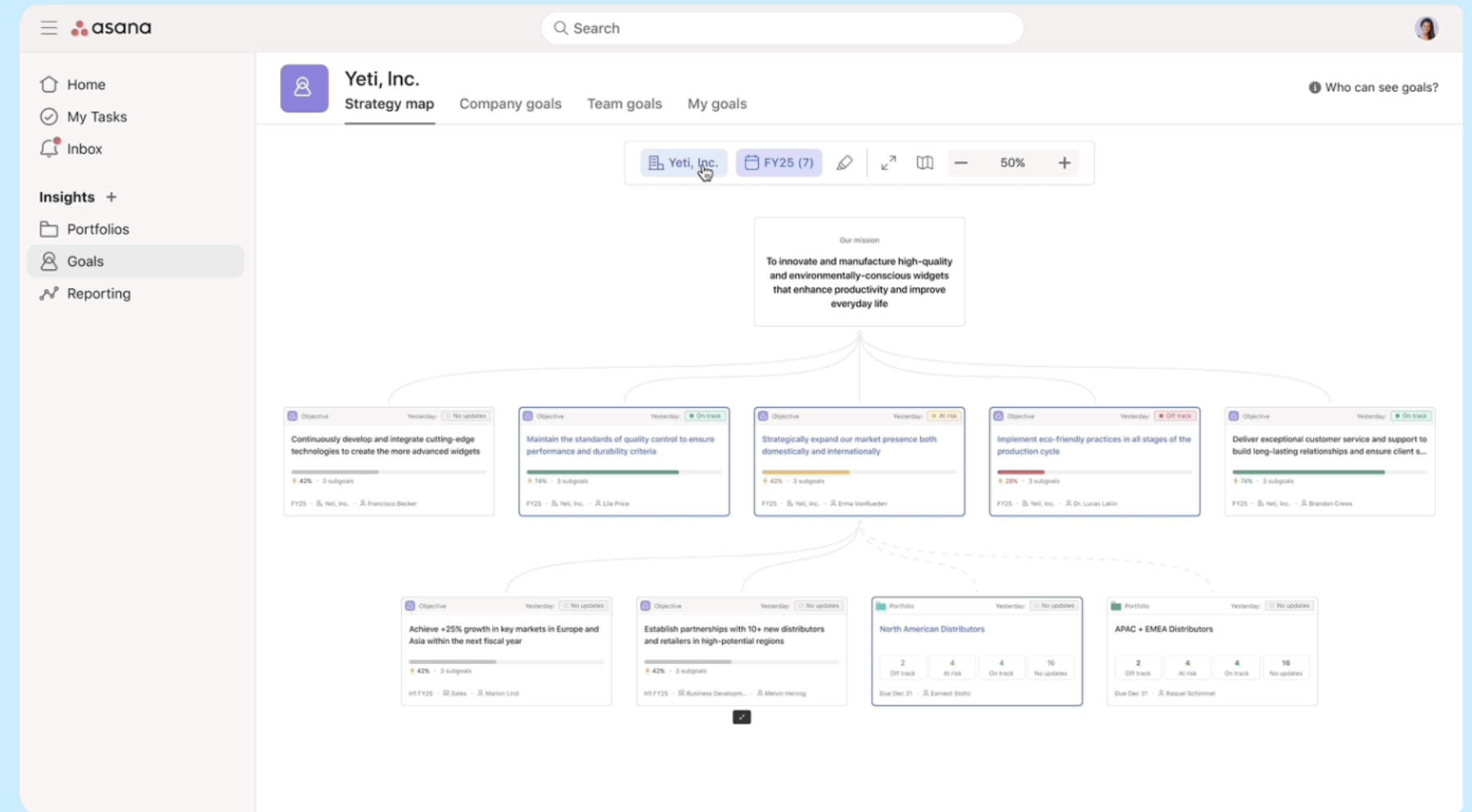
## 主なメリット

- チームの働きが会社の目標達成をどのように支えているかをチームに明確に示すことができる
- 戦略計画のギャップと重複を発見し、適切に調整できる
- 日々の仕事を意義のある成果に結びつけることで、集中力を高め、コラボレーションを促進できる



## 主なユースケース

- 目標管理
- 戦略プランニング



## 機能の使い方

Asana の「ゴール」タブを開き、「戦略マップ」ビューに切り替えます。目標を作成、接続、整理して、視覚的にチームの取り組みを組織の優先事項に揃えます。

# 目標のステータスを PDF としてエクスポートして、関係者と最新情報をスムーズに共有

リソース →



## 概要

目標の PDF エクスポートを使用すると、目標と下位目標の詳細情報およびステータス更新と一緒に PDF として生成できるため、スムーズに関係者と共通認識を持てます。



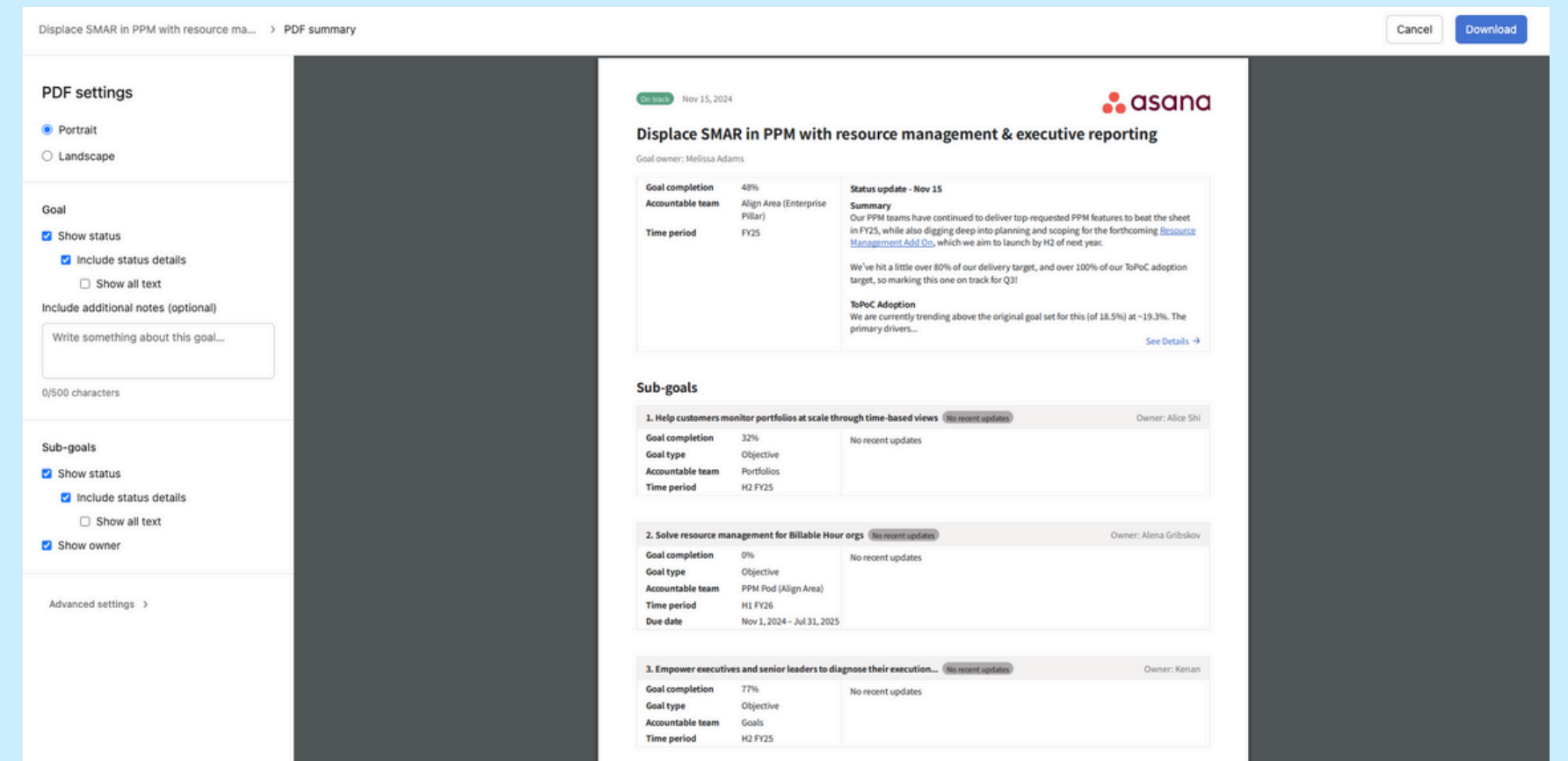
## 主なメリット

- Asana を使用していない関係者とも進捗を簡単に共有できる
- ステータス更新と下位目標を使用して進捗状況を明確に示せる
- 会議やプレゼンテーションに使用する PDF を生成できる



## 主なユースケース

- エグゼクティブレポート
- ビジネスレビュー (月次、四半期ごと)
- 進捗報告



## 機能の使い方

目標の詳細ビューでメニューアイコンをクリックし、「PDF をエクスポート」を選択し、下位目標とステータス更新を入力して、洗練された PDF レポートを作成します。



2025年冬季リリース

# リソース管理



# リソース管理

[詳しく見る →](#)

- ✓ キャパシティ計画とワークロードでの役職名の編集  
役職を更新して、ワークロードやキャパシティ計画を簡単かつ効率的に作成する
- ✓ ポートフォリオのキャパシティ  
すべてのプロジェクトにわたってチームのキャパシティを一目で確認する
- ✓ 配分の一括変更  
配分を一括で別のユーザーに移動し、効率的にリソースを管理する
- ✓ キャパシティ計画のビューの保存  
リソースの空き状況をすばやく判断し、計画を関係者と簡単に共有する

The screenshot displays the 'Capacity Plan' interface in Asana. It shows a grid for the year 2024, with columns for March, April, and May. Resources are listed on the left, including Clarke Higbee (Business Intelligence Developer), Maria Vaccaro (Business Intelligence Lead), and Lydia Gouse (Database Administrator). Projects are listed below, such as Data Warehouse Migration, Metrics Consolidation, and Incident Tracking & Resolution. A tooltip shows 'Total time tracked' as 3h 14m and 'Current session' as 01:04:58. The interface uses color-coded bars to represent resource allocation percentages for each project and month.

	2024		
	March	April	May
Clarke Higbee Business Intelligence Developer			
Maria Vaccaro Business Intelligence Lead	100%	75%	50%
Data Warehouse Migration	50%		
Metrics Consolidation	50%		
Incident Tracking & Resolution		25%	
Lydia Gouse Database Administrator			

# 役職を更新して、ワークロードやキャパシティ計画を簡単かつ効率的に作成する

[リソース →](#)



## 概要

管理者コンソールを使用しなくても、ワークロードビューやキャパシティ計画で役職をすぐに追加または編集できます。



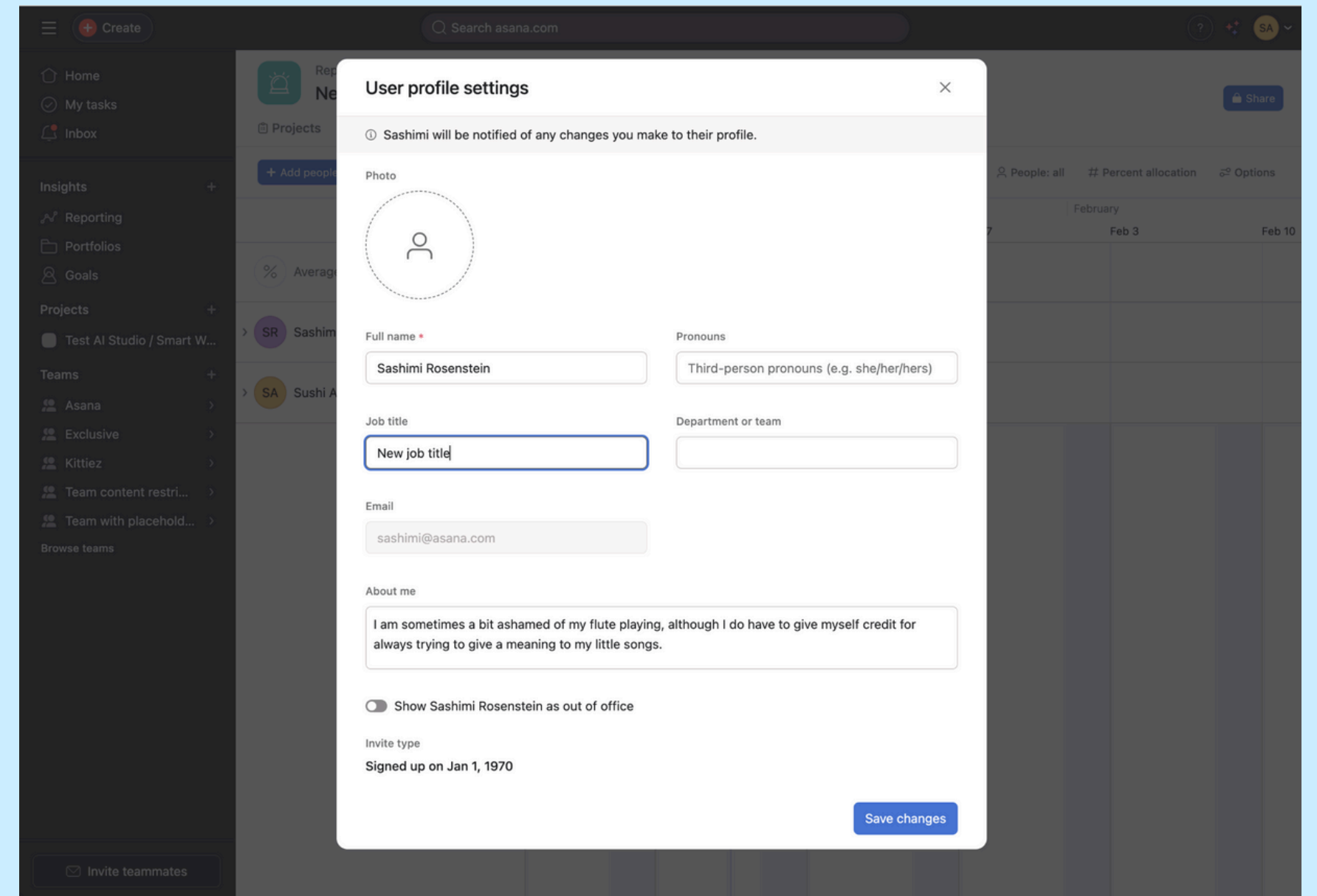
## 主なメリット

- ワークロードやキャパシティ計画で役職名を更新することで時間を節約できる
- 役職名の管理方法がシンプルなため、正確に管理できる
- 管理者の負担を減らすことでワークフローを効率化できる



## 主なユースケース

- リソース管理
- キャパシティ計画



## 機能の使い方

管理者は、「メンバー」タブから直接役職名を編集できます。ユーザーの名前の横にある三点リーダーアイコンをクリックし、「プロフィールを編集」をクリックします。その画面で、管理者は役職名を変更できます。

# すべてのプロジェクトにわたってチームの キャパシティを一目で確認する

リソース →



## 概要

ポートフォリオ内のすべてのプロジェクトの工数をキャパシティ計画のサマリー行で確認できるため、手動で計算する手間が省けます。



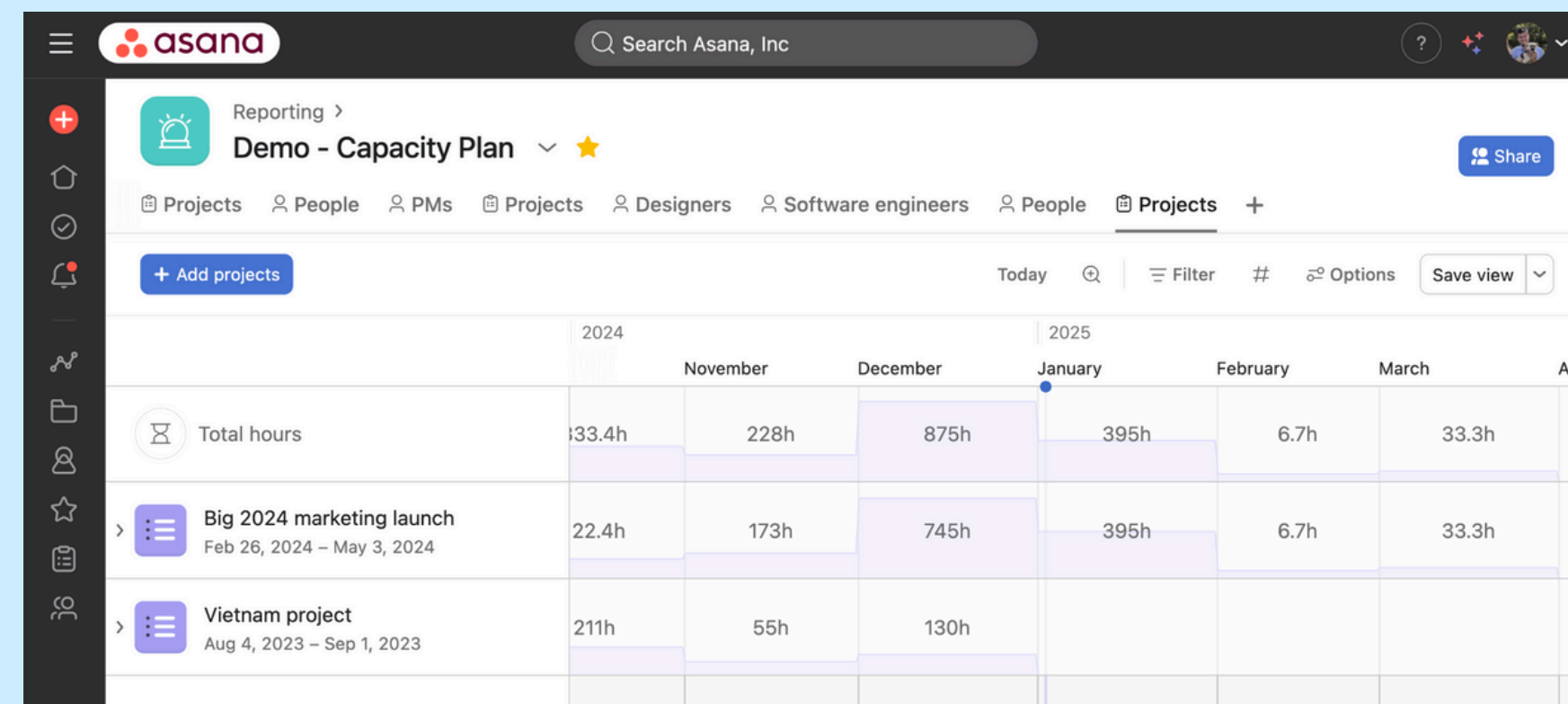
## 主なメリット

- すべてのプロジェクトの総工数のサマリーを見てポートフォリオ全体の工数を確認できる
- 時間、ユーザー、月、またはその他の単位を使用してキャパシティ要件を追跡できる
- リソースの割り当て状況を1つのビューでモニタリングすることで、データに基づいて意思決定できる



## 主なユースケース

- リソース管理
- キャパシティ計画



## 機能の使い方

総工数のサマリーがキャパシティ計画の「プロジェクト」タブの上部に表示されます。その情報を基に、リソースのニーズを追跡し、どのような配分をするかを決定します。

# 配分を一括で別のユーザーに移動し、 効率的にリソースを管理する

[リソース →](#)



## 概要

プロジェクトの配分をすばやく一人のユーザーから別のユーザーに変更できます。



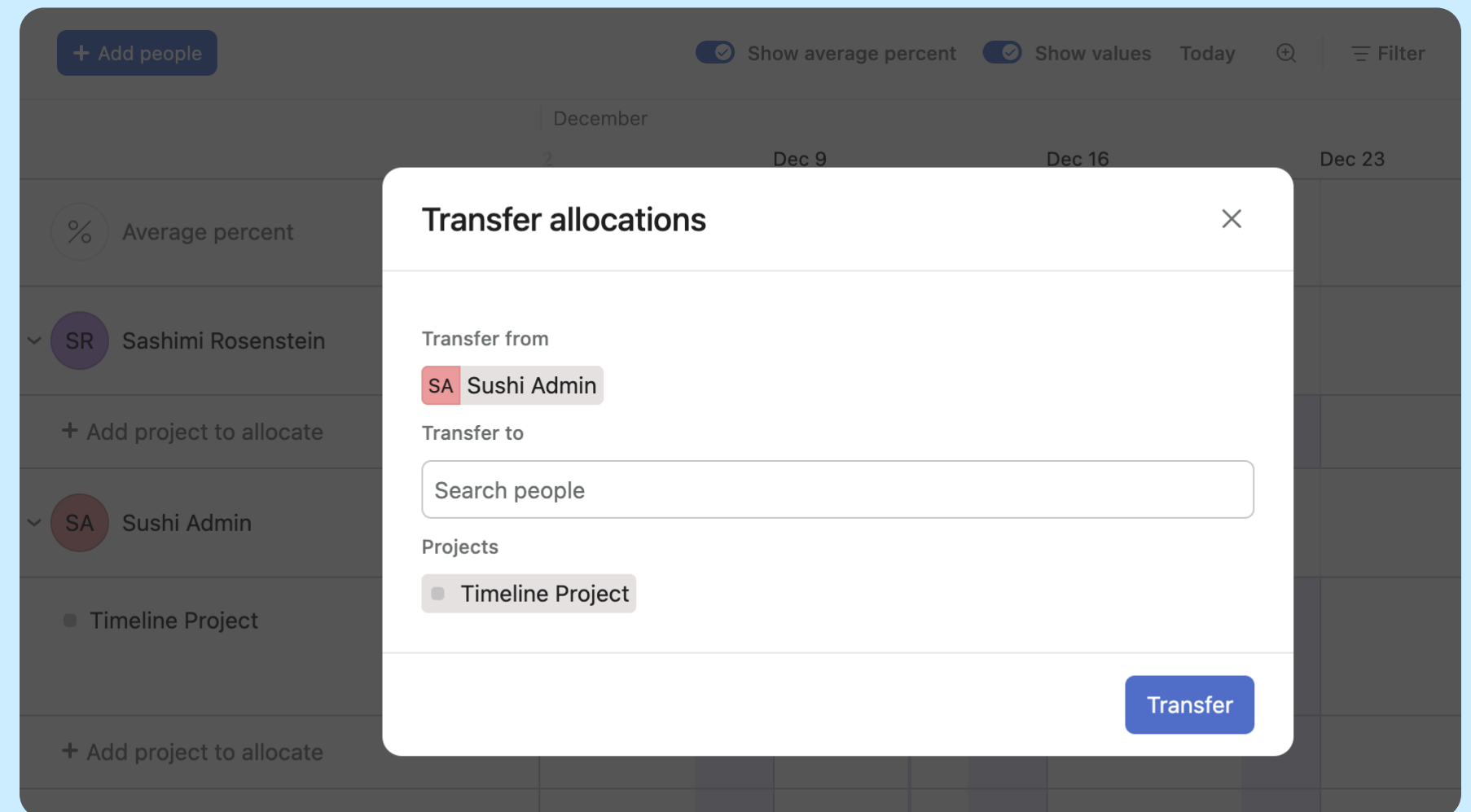
## 主なメリット

- 仕事を簡単に再配分でき、時間を節約できる
- 仕事量を適切に管理でき、チーム内でバランスよく業務を配分できる
- 業務をシームレスに移行できるため、プロジェクトを中断することなく進行できる



## 主なユースケース

- リソース計画



## 機能の使い方

プロジェクト名の横にある 3 点リーダーアイコンをクリックして、「配分を移行」を選択し、新しい担当者を入力すると、一人のユーザーから別のユーザーにすべてのプロジェクトの割り当てを一括で移動できます。

# リソースの空き状況をすばやく判断し、 計画を関係者と簡単に共有する

リソース →



## 概要

プロジェクトやチームのタブを作成、カスタマイズし、ニーズに適した名前を付けます。デザイン部門やエンジニアリング部門のキャパシティのタブなどを含め、すべてを一つの合理化されたビューで管理できるため、複数の計画を管理する手間が省けます。



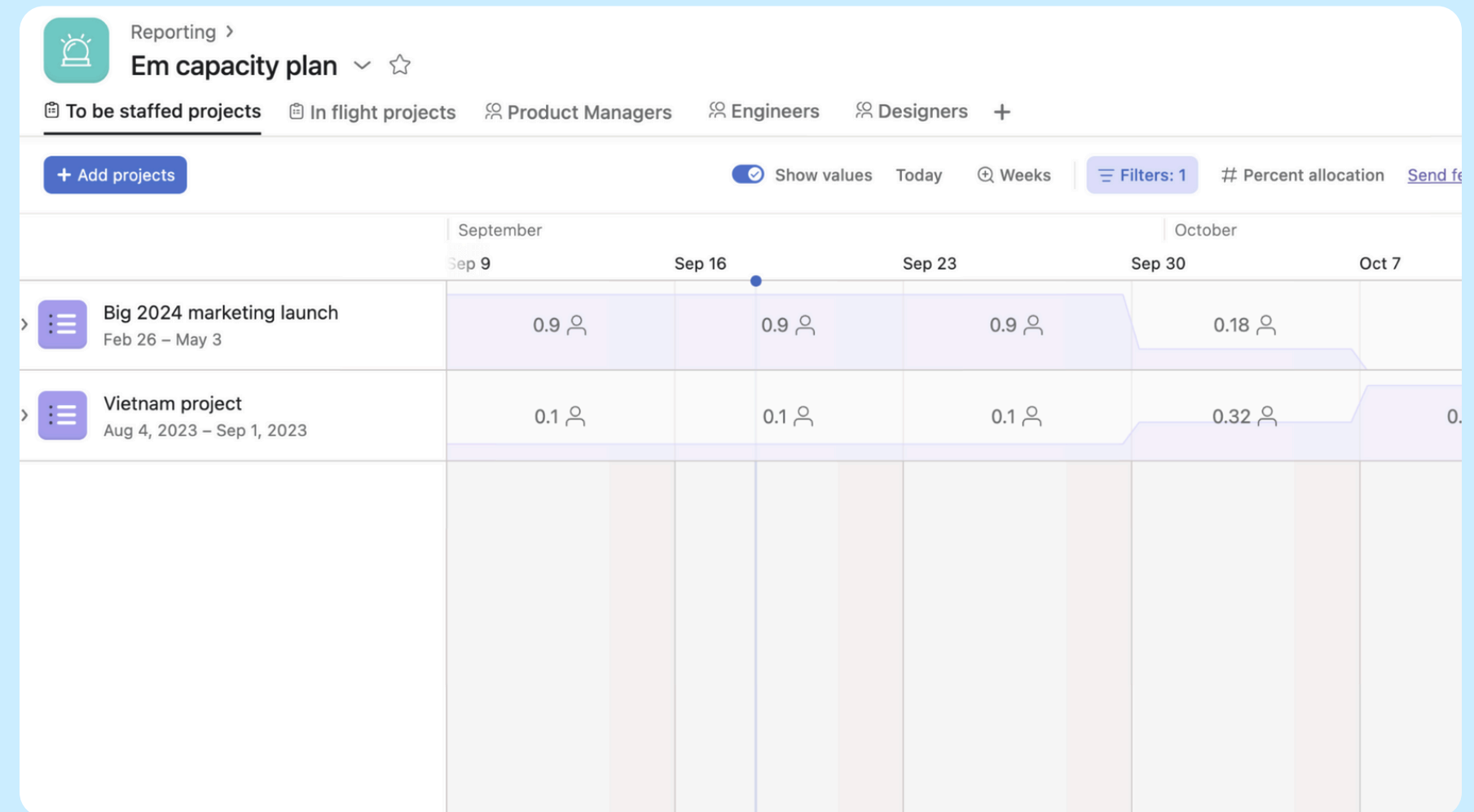
## 主なメリット

- メンバーやプロジェクトに合わせてタブをカスタマイズし、柔軟に管理を行える
- 一つのキャパシティ計画で複数のビューを切り替えることができ、操作が簡単
- 管理、共有するキャパシティ計画の数を減らせるため、効率的に計画を立てられる



## 主なユースケース

- リソース計画



## 機能の使い方

必要に応じてキャパシティ計画を絞りこんだり、ソートしたりした後に、メンバー全員が閲覧できるようにする場合は、「ビューを保存」をクリックします。カスタムタブとして作成する場合は、「+新規タブとして保存」をクリックします。カスタムタブは、三点リーダーメニューから名前を変更したり、並べ替えたり、削除したり、デフォルト設定したりできます。

2025年冬季リリース

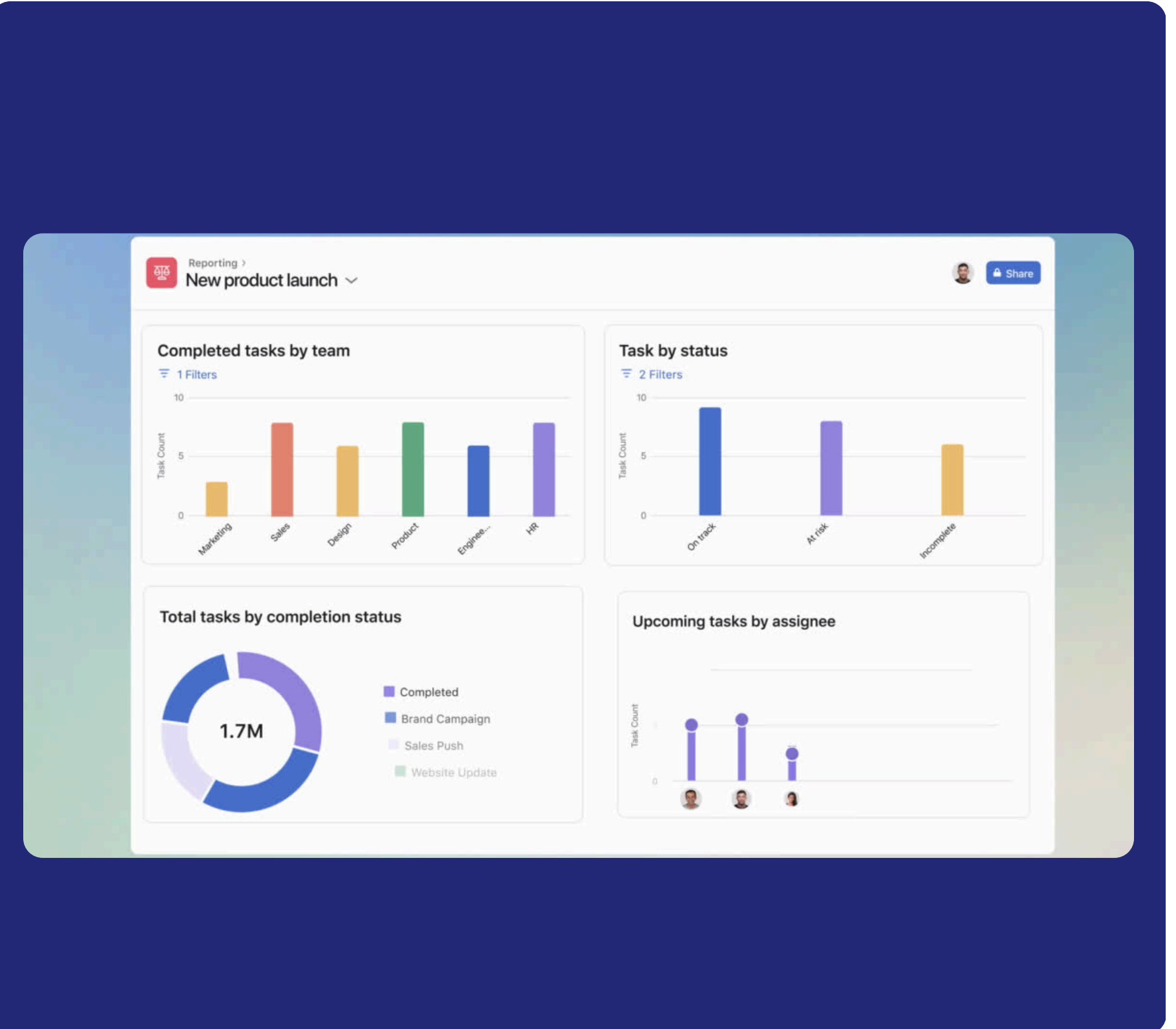
# ビジネスレビュー と報告



# ビジネスレビューと報告

[リソース →](#)

- ✔ **ダッシュボードのテキストウィジェット**  
カスタマイズ可能なテキストウィジェットでダッシュボードにコンテキストを追加し、より明確なインサイトを提供する
- ✔ **目標のステータスを PDF としてエクスポート**  
関係者と最新情報をスムーズに共有する
- ✔ **ポートフォリオを PPT としてエクスポート**  
PowerPoint の経営層向けレポートを戦略的な意思決定に役立てる





# カスタマイズ可能なテキストウィジェットでダッシュボードにコンテキストを追加し、より明確なインサイトを提供する

リソース →



## 概要

ダッシュボードにテキストウィジェットを追加し、要約、リンク、背景情報などを入力して、より充実した、有意義なレポートを作成できます。



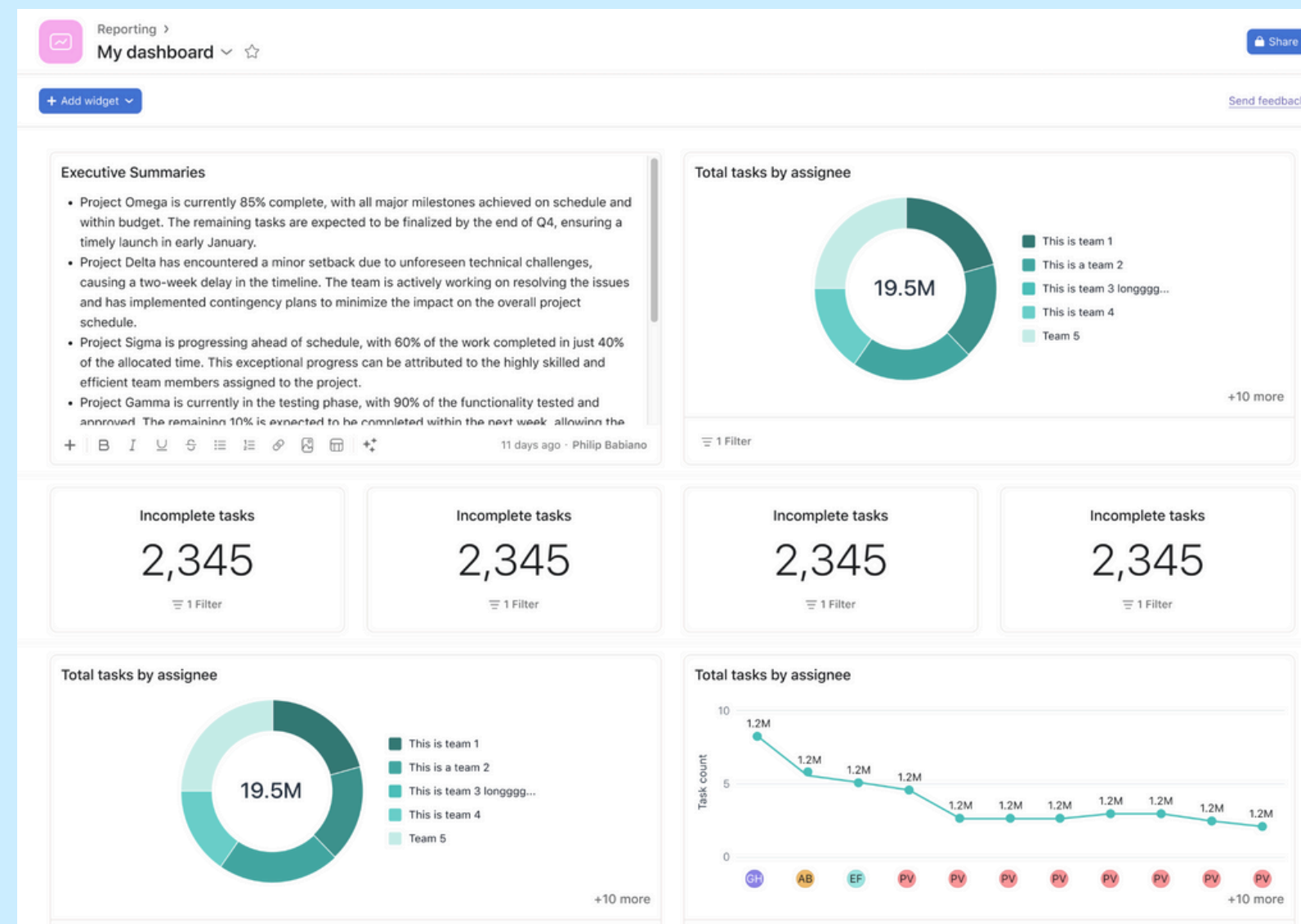
## 主なメリット

- 要約や背景情報を使って透明性を向上できる
- リンクや URL でダッシュボードの内容を充実させることができる
- チームやプロジェクトのニーズに合わせてダッシュボードをカスタマイズできる



## 主なユースケース

- ビジネスレビュー
- エグゼクティブレポート



## 機能の使い方

ダッシュボードを開き、「ウィジェットを追加」をクリックし、テキストウィジェットを選択します。テキストを入力し、書式設定して、保存します。ウィジェットのサイズ、位置、テキストはいつでも変更でき、ダッシュボードを整理された状態に保てます。

# 目標のステータスを PDF としてエクスポートして、関係者と最新情報をスムーズに共有

リソース →



## 概要

目標の PDF エクスポートを使用すると、目標と下位目標の詳細情報およびステータス更新と一緒に PDF として生成できるため、スムーズに関係者と共通認識を持てます。



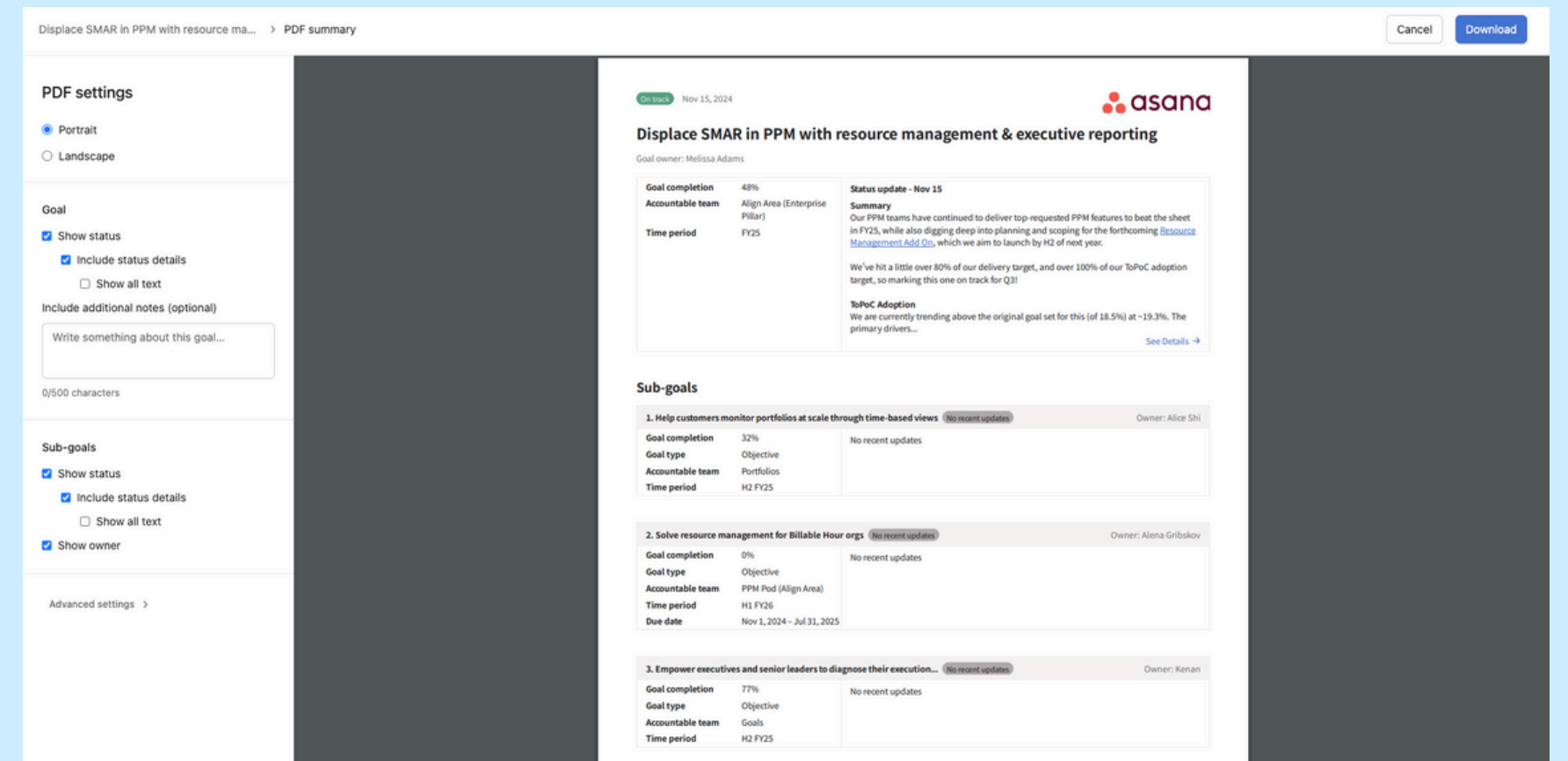
## 主なメリット

- Asana を使用していない関係者とも進捗を簡単に共有できる
- ステータス更新と下位目標を使用して進捗状況を明確に示せる
- 会議やプレゼンテーションに使用する PDF を生成できる



## 主なユースケース

- エグゼクティブレポート
- ビジネスレビュー (月次、四半期ごと)
- 進捗報告



## 機能の使い方

目標の詳細ビューでメニューアイコンをクリックし、「PDF をエクスポート」を選択し、下位目標とステータス更新を入力して、洗練された PDF レポートを作成します。

2025年冬季リリース

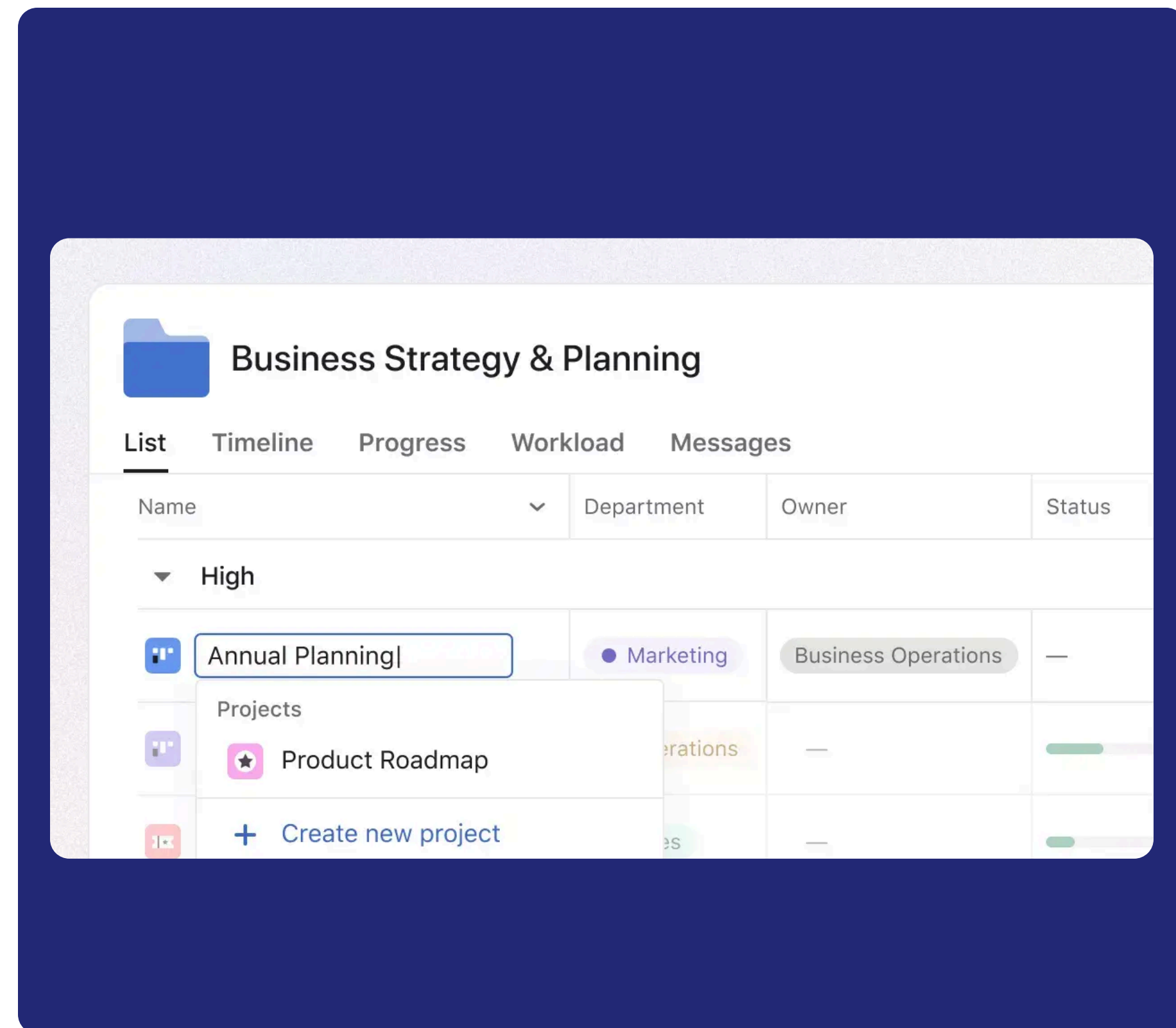
# 戦略プランニングと ポートフォリオ管理



# 戦略プランニングとポートフォリオ管理

[詳しく見る →](#)

- ✔ **ポートフォリオを PPT としてエクスポート**  
PowerPoint の経営層向けレポートを戦略的な意思決定に役立てる
- ✔ **ポートフォリオタイムラインの改善**  
ポートフォリオの改善されたタイムラインを利用して、より明確なインサイトを得る
- ✔ **ポートフォリオのチーム共有**  
ポートフォリオをチーム間で瞬時に共有し、コラボレーションを加速させる
- ✔ **ポートフォリオの高度な権限**  
ポートフォリオのカスタマイズを管理者のみに制限し、セキュリティと管理を強化
- ✔ **非公開の仕事の表示とアクセス権のリクエスト**  
ポートフォリオに関連する仕事を、より明確に把握し、適切に管理する



# PowerPoint の経営層向けレポートを戦略的な意思決定に役立てる

リソース →



## 概要

ポートフォリオのリスト、ステータス更新、マイルストーンを Microsoft PowerPoint 形式 (.pptx) でシームレスにエクスポートして、オペレーションレビューやエグゼクティブサマリーに最適な、洗練された正確な資料を作成できます。



## 主なメリット

- 洗練された PowerPoint レポートで、プロジェクトの進捗をスムーズに共有
- ポートフォリオのデータを自動でスライドに変換することで時間を節約
- 関係者のニーズに合わせてプレゼンテーションをカスタマイズ



## 主なユースケース

- エグゼクティブレポート
- ビジネスレビュー

The screenshot shows a PowerPoint slide titled "Yubikey Multi-Factor Authentication Rollout". The slide content includes:

- Status:** On track | View project in Asana
- Aug 2, 2024** by Violet Zhao
- YubiKey MFA: Pilot Success, Full Deployment Ahead**
- Completed**
  - Fully integrated YubiKey authentication with our Single Sign-On system
  - Pilot group implementation: 50 users from IT and Finance departments have been using YubiKeys for two weeks
- Challenges**
  - Slight delay in YubiKey delivery due to supply chain issues. Vendor promises remaining units within 10 business days
  - Some pilot users reported initial difficulties with mobile device integration.
  - We're developing additional guidance to address this
- Looking Forward**
  - Finalizing roadmaps, particularly around view only, P&P migration, 14 day trial, and AI consumption billing
  - Finalize P&P migration plan
  - Finalize view only launch scope & sequencing
  - Ship mixed domains Phase 1
  - Planning for AI consumption billing

On the right side of the slide, there is a table of milestones:

Milestone	Due date	Assignee
AM: Post-churn grace period (and placing Hipaa on it)	Oct 9, 2024	Violet Zhao
Grace Period SAML Feature Access	Oct 9, 2024	Matt Farmer
AM: ALA Phase 2 / Project Maverick	Oct 9, 2024	Freddy Tang
License management FY25		Freddy Tang
Account Management Team Status (AM)	Oct 9, 2024	Ji Yoon Ahn
AM: Automated License Assignment (ALA Phase I)	Oct 9, 2024	Violet Zhao
AM: Cost centers and allocation tracking	Oct 9, 2024	Matt Farmer
Billing Snapshot Deprecation	Oct 9, 2024	Freddy Tang
Conversion & Retention Team Status (Co:Re)	Oct 9, 2024	Freddy Tang
Deliver on retention strategy and unlock H2 themes [Co:Re]		Ji Yoon Ahn

The slide footer includes the Interlock logo and "Powered by asana".

## 機能の使い方

ポートフォリオを開き、「エクスポート」ボタンをクリックし、「PowerPoint」を選択します。関係者と共有する前に、ファイルをダウンロードして確認またはカスタマイズします。

# ポートフォリオの改善されたタイムラインを利用して、より明確なインサイトを得る

リソース →



## 概要

このアップデートにより、タイムラインがリストビューに近いレイアウトとなり、グリッド表示、最大 1,500 件のアイテム対応、複数フィルターによるソート、新しいツールバー、サイズ変更可能な左ウィンドウが追加されます。さらに、ポートフォリオの右ウィンドウが利用可能になり、タイムラインビューにネストされたポートフォリオも表示されるようになったことで、より可視性が高まり、整理しやすくなります。



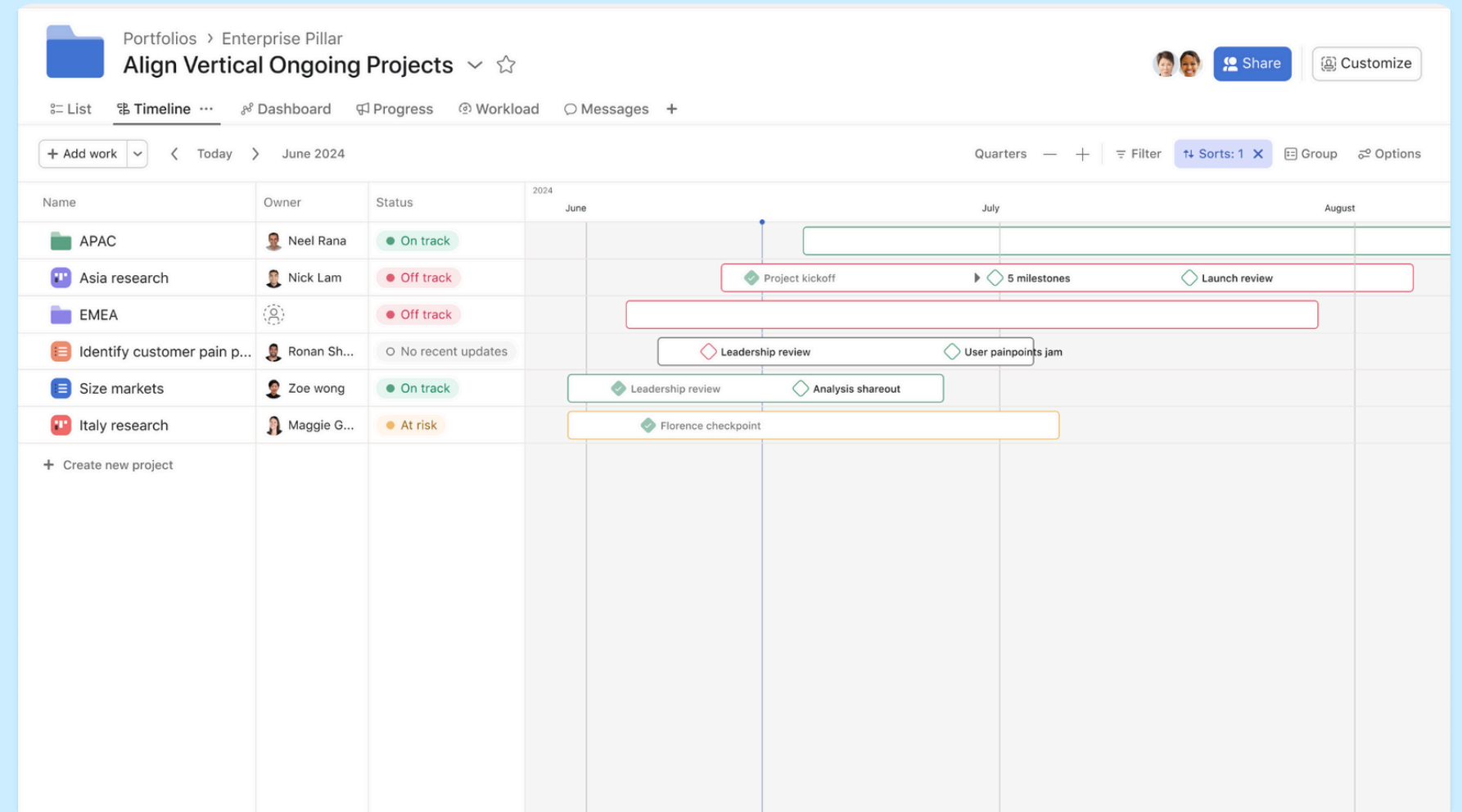
## 主なメリット

- タイムラインのグリッド表示と対応アイテム件数の増加により、より高い可視性を実現
- 複数フィルターによるソートと新しくなったツールバーでレポートの質が向上
- サイズ変更可能な左ウィンドウで、ワークフローをより柔軟にカスタマイズ



## 主なユースケース

- ポートフォリオ管理



## 機能の使い方

強化されたポートフォリオタイムラインを使用して、ビューを整理、絞り込み、カスタマイズすることで、より効果的なレポート作成や意思決定を行えます。

# ポートフォリオをチーム間で瞬時に共有し、コラボレーションを加速させる

リソース →



## 概要

ポートフォリオをチームやユーザーと簡単に共有できるようになり、可視性とコラボレーションが改善します。



## 主なメリット

- ポートフォリオを各チームと一度に共有することでアクセス管理を簡素化できる
- 適切なアクセスレベルを付与することで、可視性を確保できる
- チーム全体で簡単にアクセスできるため、コラボレーションを効率化できる



## 主なユースケース

- ポートフォリオ管理

### Share portfolio

Now you can assign editor and viewer access levels. [Give feedback](#)

#### Invite with email

Mary Chang × 26 Brand design × | Editor

Give access to all projects in this portfolio that I have access to  
Note: Access will not be given to any projects that you have comment-only or view-only permission for

Notify 27 new members about joining this portfolio

Send portfolio updates and messages

Notify when projects are added to the portfolio

#### Access settings

Alpha Inc

#### Members

Manage notifications

Everyone at Alpha Inc Editor

JM Jimmy Merchant jimmy@alpha.com Portfolio admin

## 機能の使い方

ポートフォリオの共有設定を開き、チームを選択し、アクセスレベルを設定して、通知設定を調整します。

# ポートフォリオのカスタマイズを管理者のみに制限し、セキュリティと管理を強化

[リソース →](#)



## 概要

ポートフォリオの高度な権限により、指定された管理者のみがワークフローのカスタマイズを行えるようになります。これには、各フィールド、ビュー、フィルターの編集、ポートフォリオ共有の管理などが含まれます。



## 主なメリット

- 指定された管理者のみがポートフォリオを編集または共有できるようにすることで、ポートフォリオへのアクセスを制御できる
- 各フィールド、ビュー、フィルターをカスタマイズできるユーザーを管理することで、データを保護できる
- プライバシー設定を維持しながらポートフォリオの共有を簡単に行えるため、コラボレーションを簡素化できる



## 主なユースケース

- 戦略プランニング
- ポートフォリオ管理

## Portfolio permissions



Who can modify this portfolio's workflow and appearance?

 Portfolio admins and editors

The portfolio workflow can include custom fields, rules, project templates, saved views, and default views and settings

Who can share and manage portfolio memberships?

 Only portfolio admins

## 機能の使い方

ポートフォリオで「共有」をクリックすると、メンバーを追加する、権限を設定する、カスタマイズ権限を管理者に限定する、アクセスレベルを管理するといった操作が行えます。



# ポートフォリオに関連する仕事を、より明確に把握し、適切に管理する

リソース →



## 概要

ポートフォリオのメンバーはポートフォリオ内の非公開プロジェクトを簡単に特定し、アクセス権をリクエストできます。管理者は、ポートフォリオの内容と可視性を完全に管理できます。



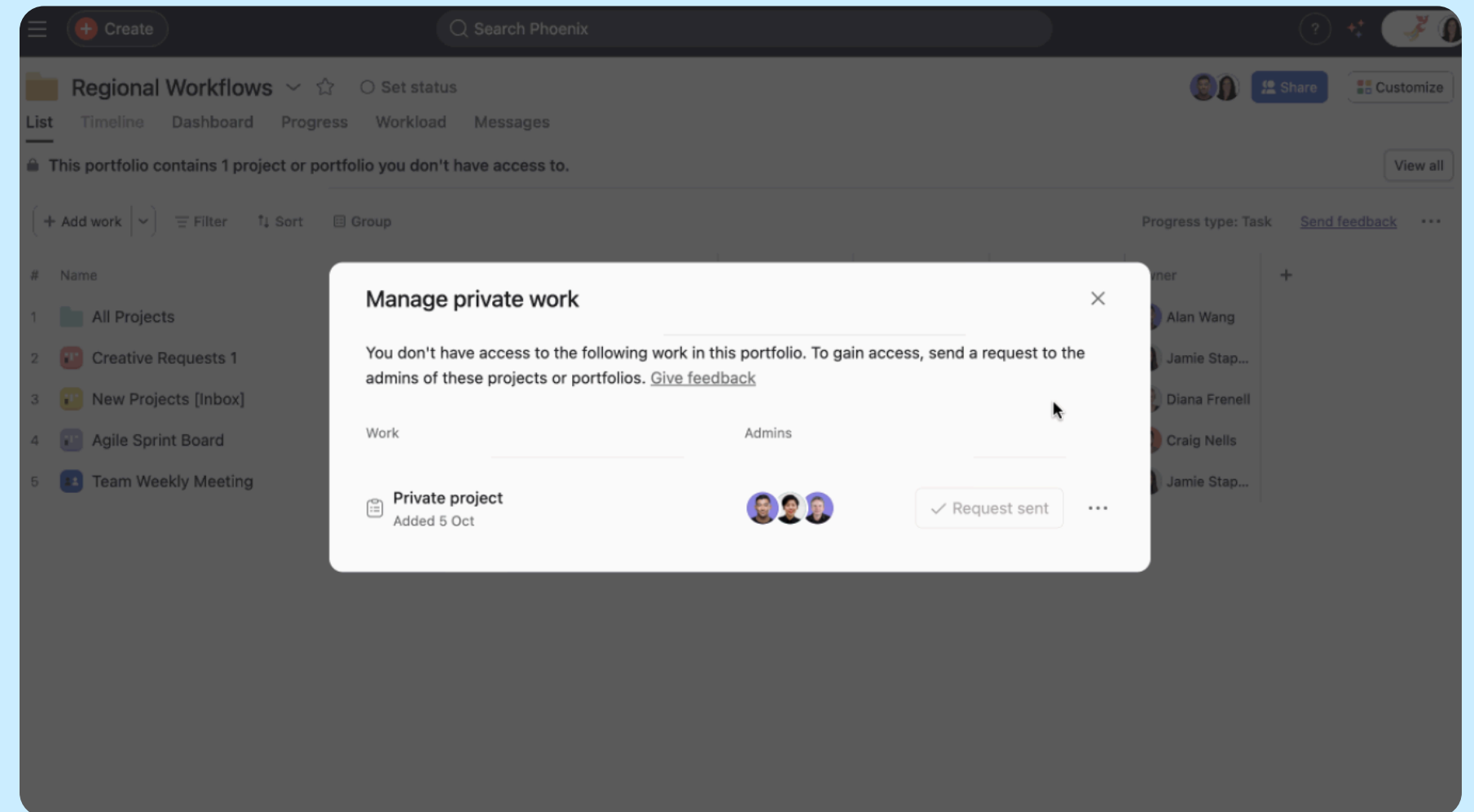
## 主なメリット

- アクセス制限された仕事の可視性を高めることで、透明性が高まる
- 管理者や編集可能ユーザーのアクセスを管理しやすくなる
- アクセス権のリクエスト手順が効率化され、コラボレーションが容易になる



## 主なユースケース

- プログラムマネジメント
- 戦略プランニング
- リソース管理



## 機能の使い方

ポートフォリオに非公開の仕事が含まれている場合は、上部にバナーが表示されます。「すべて表示」をクリックすると、ポップアップウィンドウに制限付きのアイテムの一覧が表示され、ワンクリックでアクセス権をリクエストできます。

2025年冬季リリース

# 企業向けのセキュリティ ティとコントロール

# 🔒 企業向けのセキュリティとコントロール

[リソース →](#)

- ✓ **SAML グループマッピング**  
SAML を活用し、組織専用のフォームを追加ライセンスなしで  
全社展開する
- ✓ **セルフサービス型サンドボックス**  
管理された環境下で安全に構成をテストする

The screenshot displays the 'Authentication' settings page. It features a list of authentication methods with their respective status and a 'Log out after 14 days' option.

Authentication	
Google sign-in Let members sign in with a Google account	Optional >
SAML authentication [Progress bar]	Required >
Two-factor authentication [Progress bar]	Required >
Session duration [Progress bar]	Log out after 14 days >

# SAML を活用し、組織専用のフォームを追加ライセンスなしで全社展開する

リソース →



## 概要

SAML を使用している Enterprise プランの管理者は、Asana ライセンスを持たないユーザーに対しても組織内限定フォームを一括で利用可能にできます。ライセンスのリクエストは Asana で直接処理でき、そのすべてを管理者コンソールから管理できます。



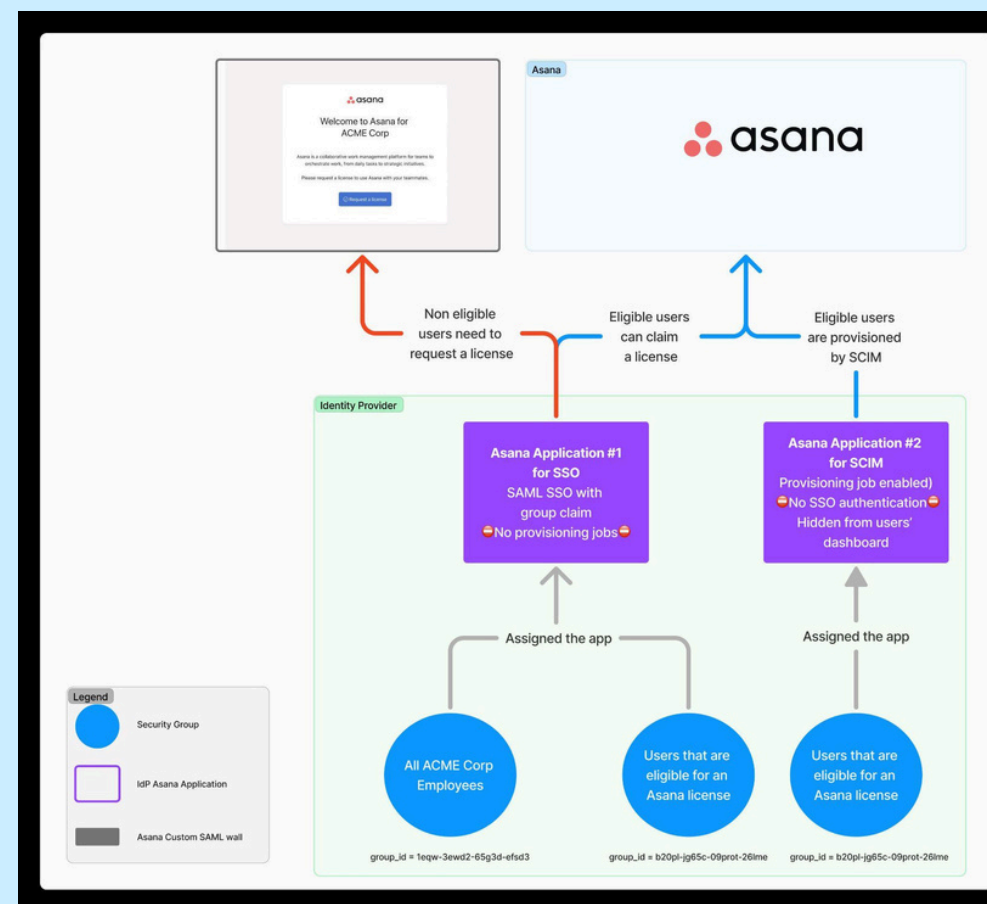
## 主なメリット

- SAML を使用している Enterprise プランの管理者は、Asana ライセンスを持たないユーザーに対しても組織内限定フォームを一括で利用可能にできます。ライセンスのリクエストは Asana で直接処理でき、そのすべてを管理者コンソールから管理できます。



## 主なユースケース

- アクセス管理
- リクエスト管理
- ライセンスのリクエスト



## 機能の使い方

Asana の管理者コンソールで、「セキュリティ」タブを開き、「SAML グループマッピング」を選択し、IdP グループを Asana のライセンスタイプにマッピングします。

# セルフサービス型のサンドボックスを使って、 管理された環境下で安全に構成をテストする

[リソース →](#)



## 概要

Enterprise プランの管理者は、管理者コンソールから直接サンドボックス環境を作成および管理できます。リクエストフォームや外部依存が不要になり、設定のテスト、プロトタイプ作成、変更の適用を迅速かつ簡単に行えます。



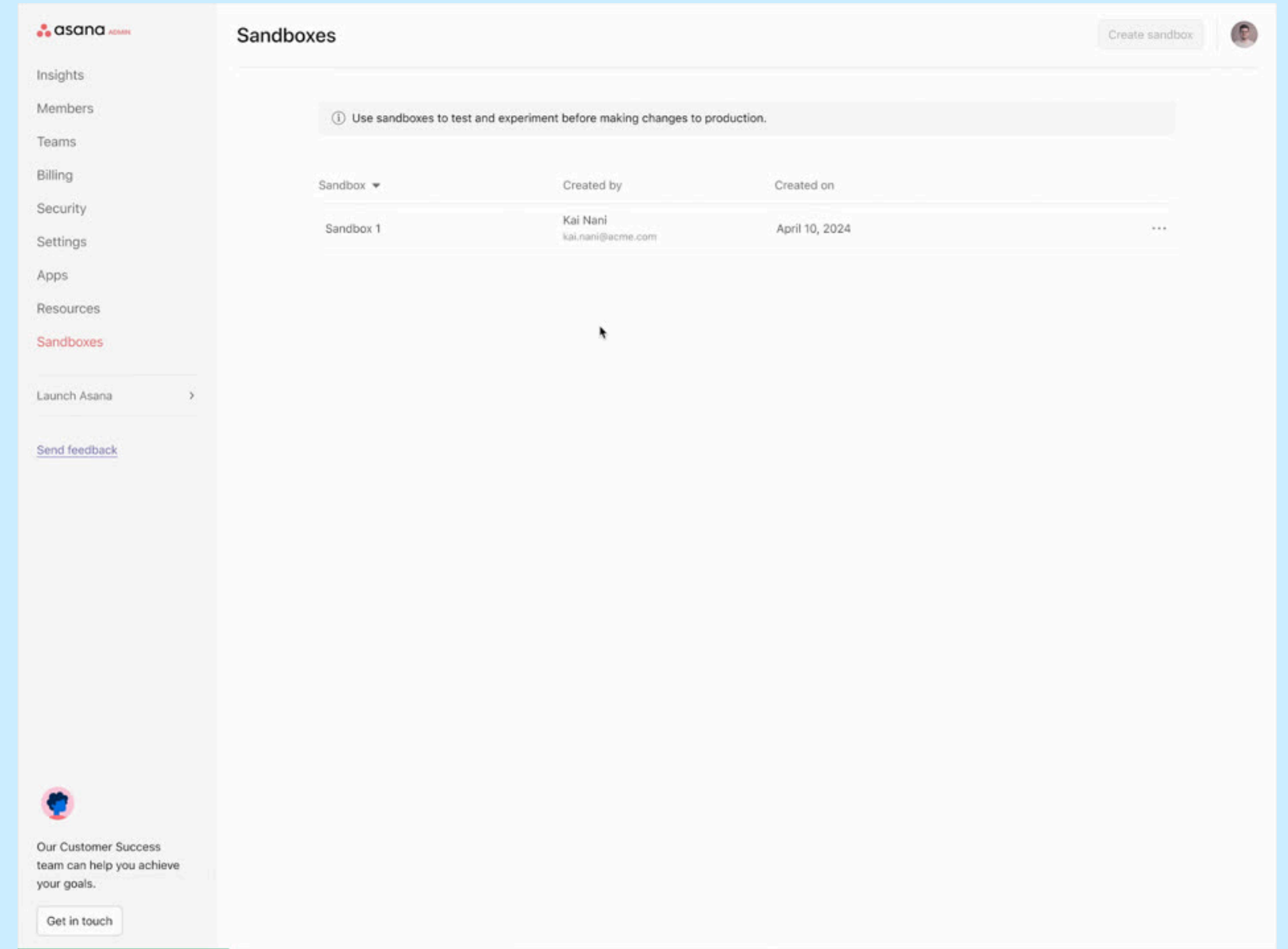
## 主なメリット

- 管理者の承認を待たずに、即座にサンドボックスを作成できる
- 必要に応じて、サンドボックスを自由に管理、削除できる
- 手間を減らし、テストワークフローを効率化できる



## 主なユースケース

- 企業の IT 管理
- チェンジマネジメント



## 機能の使い方

管理者コンソールを開き、サンドボックスを管理するためのセクションに移動すれば、数クリックでサンドボックスを作成または削除できます。

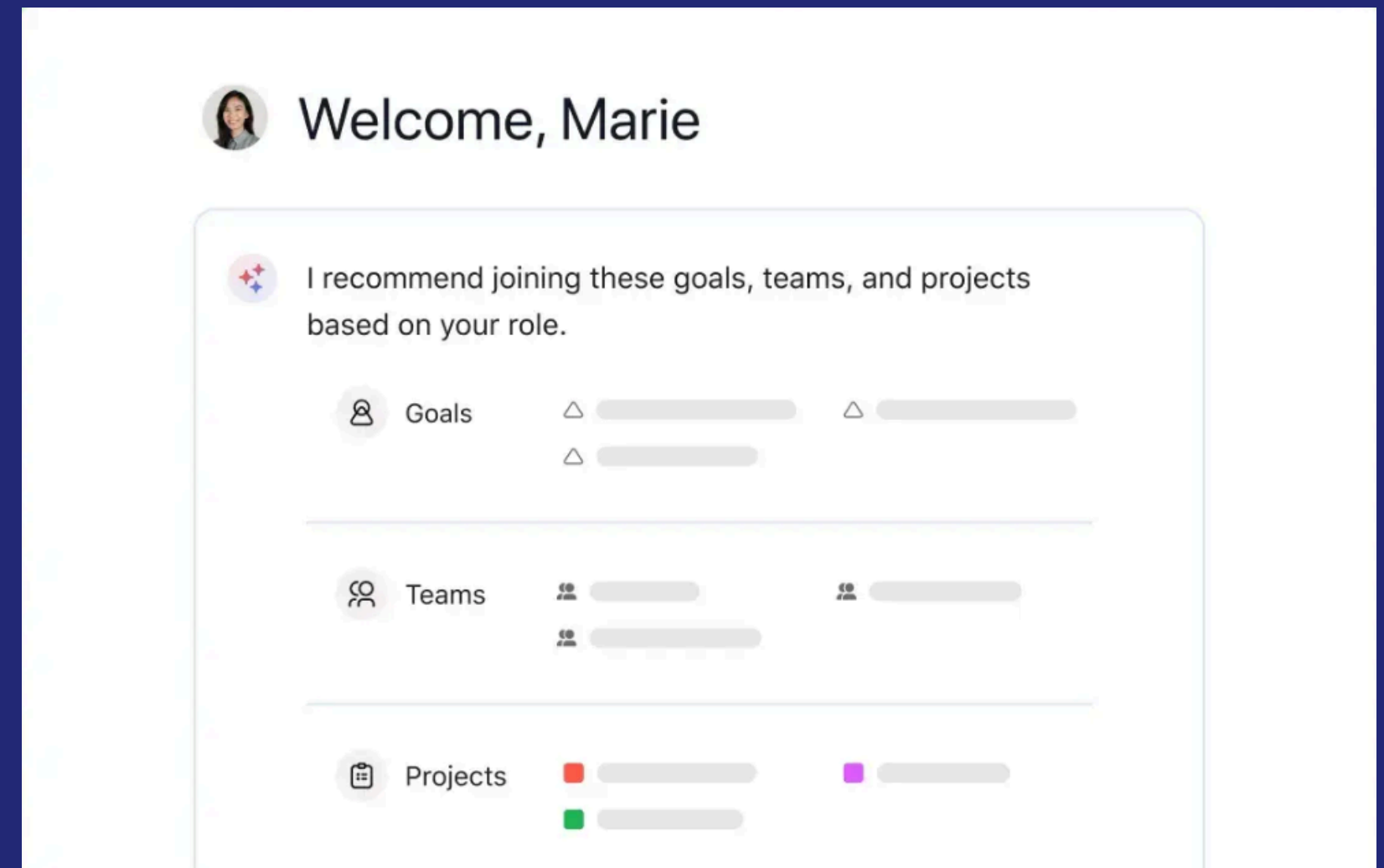
2025年冬季リリース

# チームのオンボーディングと能力開発

# チームのオンボーディングと能力開発

[リソース →](#)

- ✓ チームページのキュレーション  
チームのオンボーディングとコラボレーションを改善する
- ✓ セグメント別にカスタマイズされたオンボーディング  
従業員が Asana をより早く使いこなせるようにサポートする



# チームページのキュレーションで、チームのオンボーディングとコラボレーションを改善する

リソース →



## 概要

カスタマイズ可能なチームページを作成し、ポートフォリオ、プロジェクト、テンプレート、フォーム、外部リソースなどを一か所に集約して整理し、リンクできます。



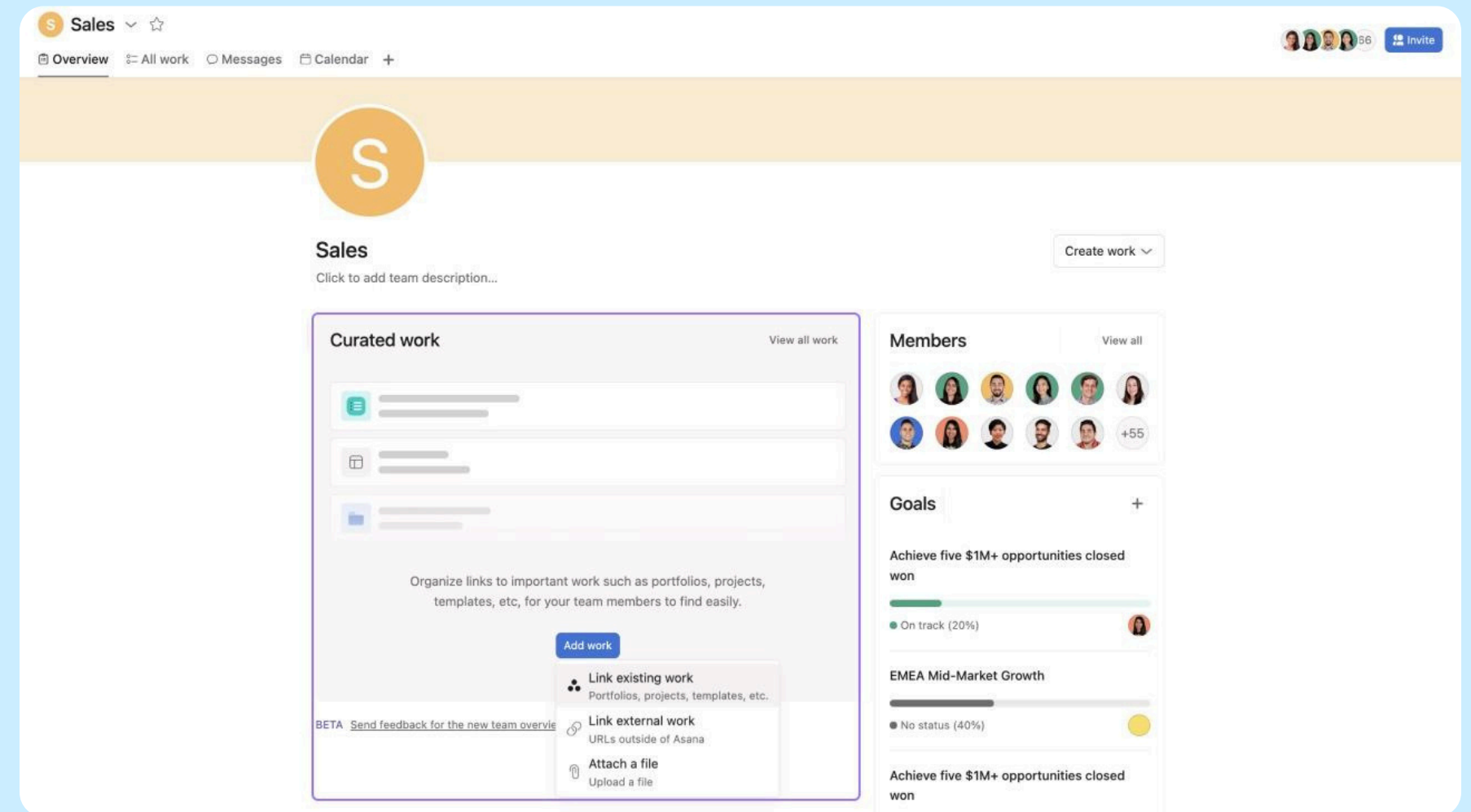
## 主なメリット

- チームのコラボレーションが一元化されることで、仕事が整理しやすく、見つけやすくなる
- 可視性が向上し、チームの活動や進捗を把握しやすくなる
- 簡単な操作ですぐに重要な情報にアクセスできる



## 主なユースケース

- 従業員のオンボーディング



## 機能の使い方

「概要」タブで、チームの管理、仕事のキュレーションと追加、プロジェクトの作成、目標の設定、コンテンツの整理を行えます。



# オンボーディングをセグメント別にカスタマイズし、従業員が Asana を一早く使いこなせるようにサポートする

[リソース →](#)



## 概要

チーム、言語、メールアドレスに応じてセグメンテーションされたオンボーディングプロセスを作成し、それぞれに最適な体験を提供できます。



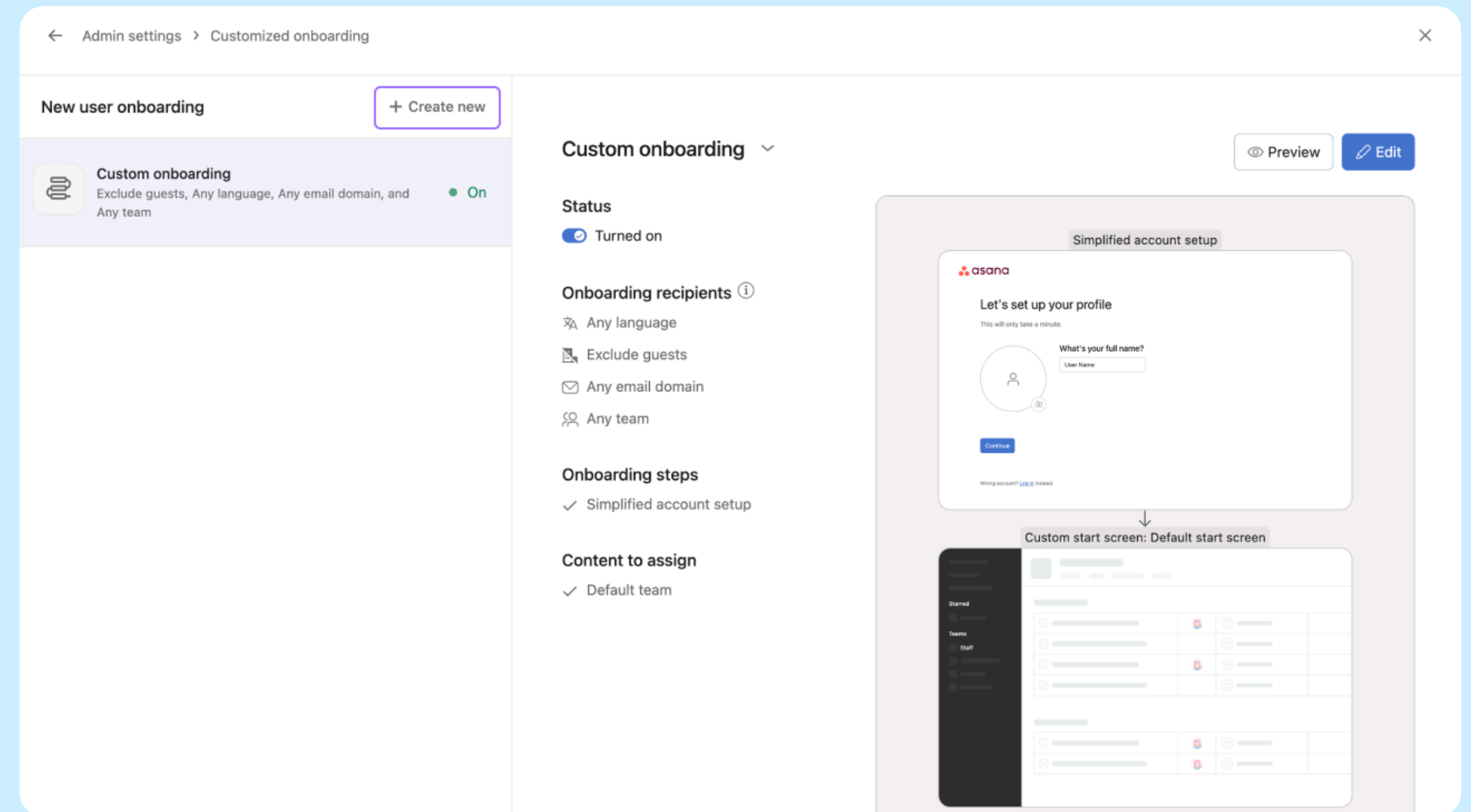
## 主なメリット

- 新しいチームメンバーが初日から必要な情報を確実に得られるよう、パーソナライズされたオンボーディングを提供できる
- 自動ルーティングにより、ユーザーを最適なオンボーディングフローへ誘導できる
- 複数のオンボーディングフローを用意することで、役職、部門、言語ごとに適した体験を提供できる



## 主なユースケース

- 従業員のオンボーディング



## 機能の使い方

管理コンソールの「設定」タブの「カスタムオンボーディング」を開き、役割ベースのオンボーディングフローを作成することで、ユーザーに適切な体験を提供できます。本機能は管理者および特権管理者が利用可能で、デフォルトでは無効になっています。

2025年冬季リリース

# Asana AI



- ✔ スマートチャットの機能強化  
より正確な回答を得て、すばやく行動に移す
- ✔ Microsoft Teams でのスマートチャット  
インサイトや提案を確認して業務をスムーズに進める



# スマートチャットの機能強化で、より正確な回答を得て、すばやく行動に移す

[リソース →](#)



## 概要

スマートチャットで、より直感的で自然なやり取りができるようになりました。詳細なフォローアップの質問や、コンテンツの下書きや修正、製品内の直接リンクの取得、専門的なガイダンスの提供など、すべてを一つのシームレスな体験で行えます。



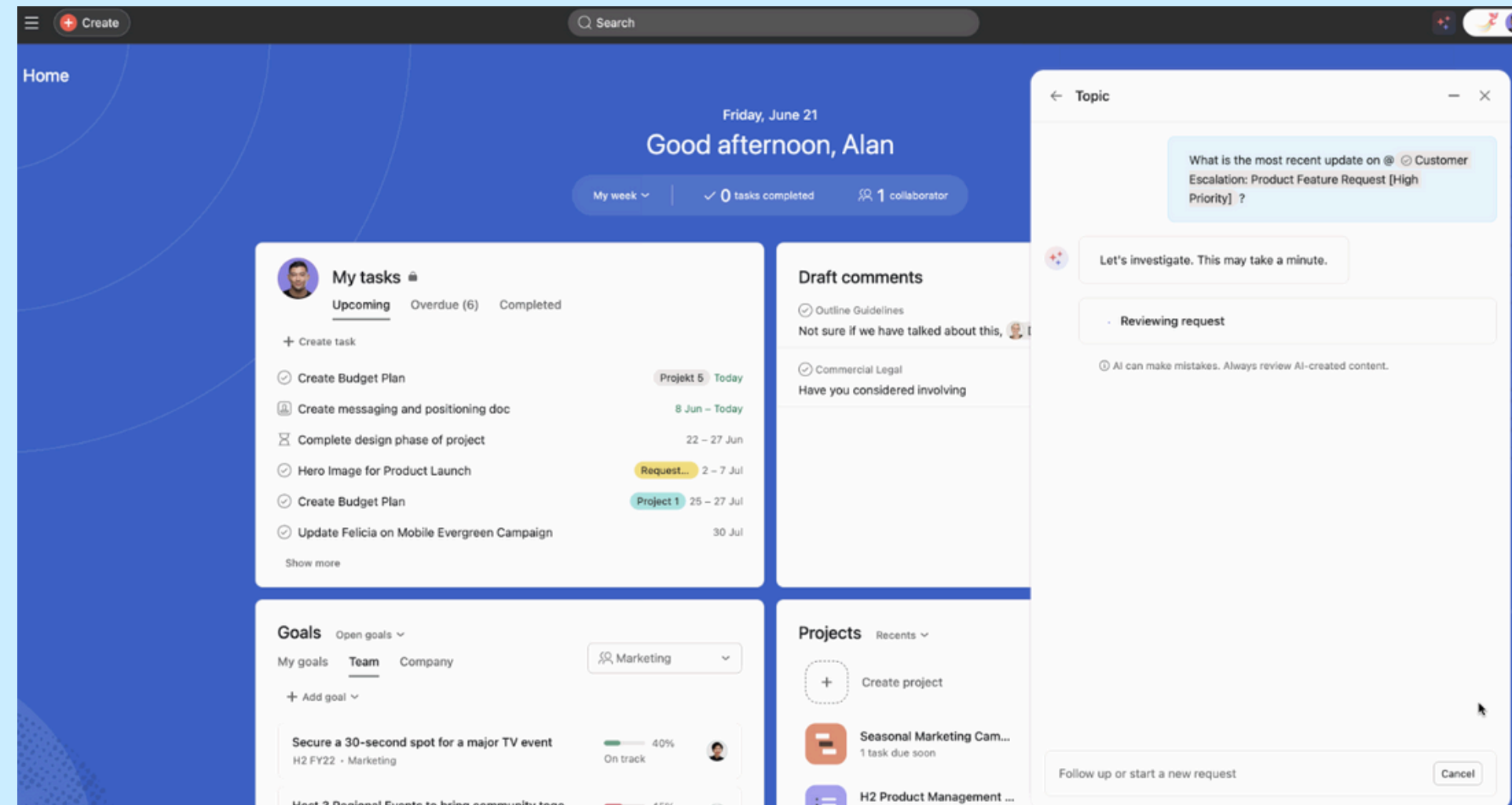
## 主なメリット

- コンテキストを記憶する AI のフォローアップ機能で、より早く回答を得られる
- チャット内で直接テキストを下書き、修正、改善できる
- 専門的なガイダンスや提案を受けて、効率よく仕事を進められる



## 主なユースケース

- 仕事の受け付け
- リソース計画
- 戦略プランニング
- 製品リリース



## 機能の使い方

Asana ウィンドウの右上にあるキラキラアイコンをクリックしてスマートチャットを開き、おすすめの質問から選択するか、自然言語で質問を入力します。複雑なプロンプトを書く必要はありません。

# Microsoft Teams で直接インサイトや提案を確認して業務をスムーズに進める

リソース →



## 概要

Microsoft Teams 内でスマートチャットを利用し、プロジェクトサマリーの取得、ボトルネックの特定、AI によるインサイトを活用し、効果的に優先順位を付けられます。



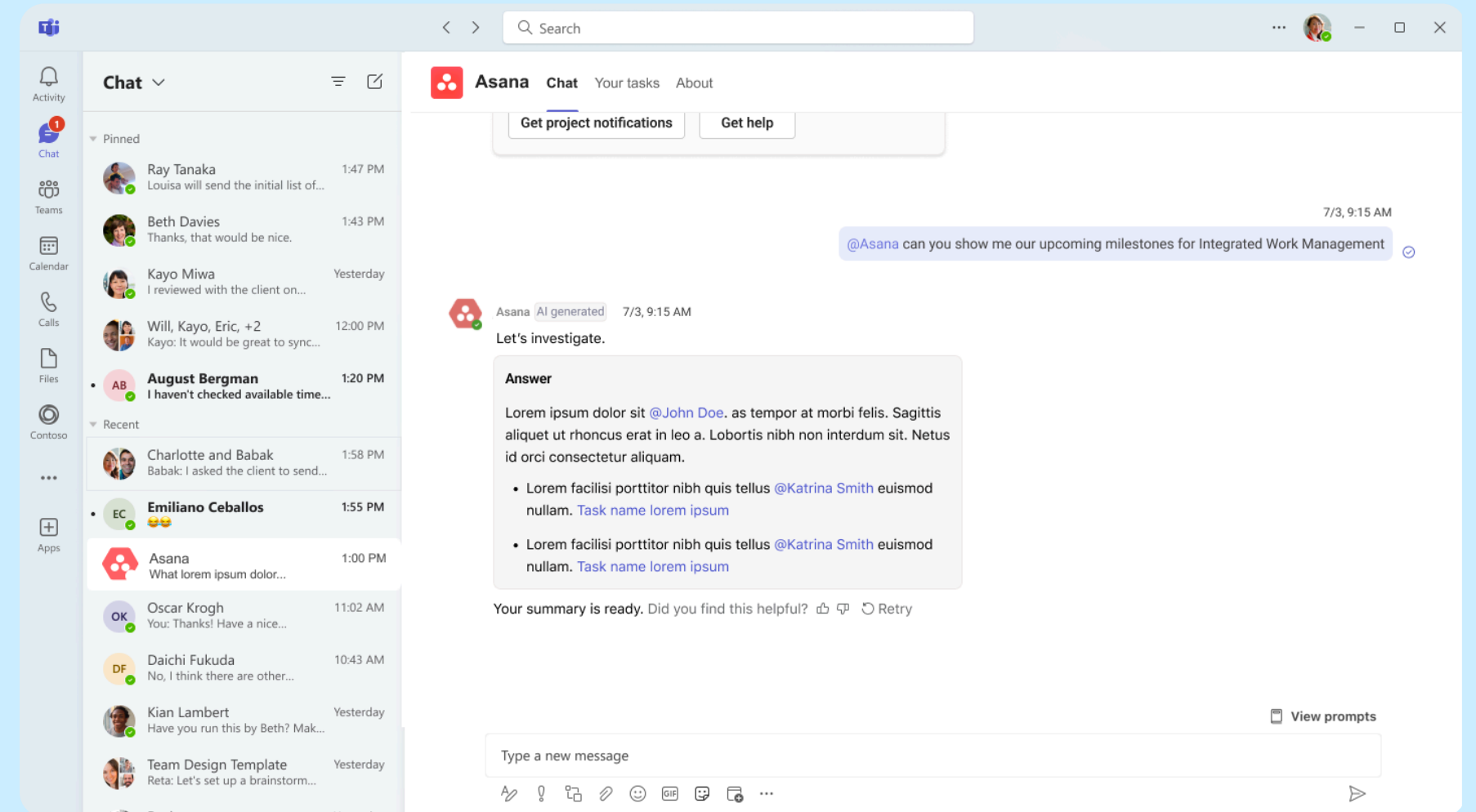
## 主なメリット

- 仕事のステータス、プロジェクトのリスク、次のステップについて即座に回答を得られる
- 作業が遅れる前にボトルネックを特定し、スムーズに進行できる
- トレンド、次のステップ、担当者に関する AI のインサイトを活用し、優先度を適切に判断できる



## 主なユースケース

- 仕事の受け付け
- クリエイティブ制作
- キャンペーン計画
- 戦略プランニング
- 製品リリース



## 機能の使い方

Teams で Asana のチャットを検索し、ログインして質問をすると、リアルタイムでプロジェクトのインサイトや提案を得られます。